Children Firstの子ども行政のあり方勉強会
～「こども庁」創設に向けて～

「子ども行政への要望・必要だと思うことアンケート」分析結果

令和3年3月16日
Children Firstの子ども行政のあり方勉強会
共同事務局
自見はなこ・山田太郎

目次

1 調査概要

2 調査結果（基礎データ）

3 調査分析（属性分析,クロス分析）

4 具体的な提案や要望

5 主な意見（抜粋）

調査概要

調査概要

ねらい

「子ども・子育て行政」に関する要望や必要だと思うことについて、インターネット上のアンケートを活用して広く国民の声を集め、国民の現状と課題を把握し、今後の政策立案に生かしていく。

実施期間（14日間）

２０２１年2月8日（月）２０：００～2月２１日（日）２１：００

設問内容

現在あなたが感じる子ども・子育て行政への要望や必要だと思うこと	【事務局で作成した回答分類から一つを選択】 それに対する理由【自由記述】 ※最大3つまで回答可能
子ども・子育て行政への具体的な提案	【自由記述】※任意
年代	１０代、２０代、３０代、４０代、５０代、６０代【選択】
性別	男性、女性、答えない【選択】
お子様の人数	0人、1人、2人、3人、4人以上【選択】※任意
メールアドレス	【自由記述】※任意
ハンドルネーム	【自由記述】※任意

（アンケート表示画面）

回答分類 ２４項目

※以下の回答分類の中から最大３選択してもらい、理由は自由記述で募った。

A 医療	M 子どもの貧困
B 保育	N 子どもの自殺
C 教育（幼児期に関すること）	O 少子化
D 教育（義務教育・高等教育に関すること）	P 家事代行
E 障がい児支援	Q ベビーシッター
F 児童虐待・社会養護	R 行政組織全般
G ひとり親	S DBS (Disclosure and Barring Service) 無犯罪証明書
H 不妊治療・不育治療	T 妊娠前に関する上記以外のこと
I 産後ケア	U 妊娠時に関する上記以外のこと
J DV・婦人保護施設	V 乳児期に関する上記以外のこと
K いじめ	w 幼児期に関する上記以外のこと
L ひきこもり	X その他

調査結果（基礎データ）

調査結果（基礎データ）

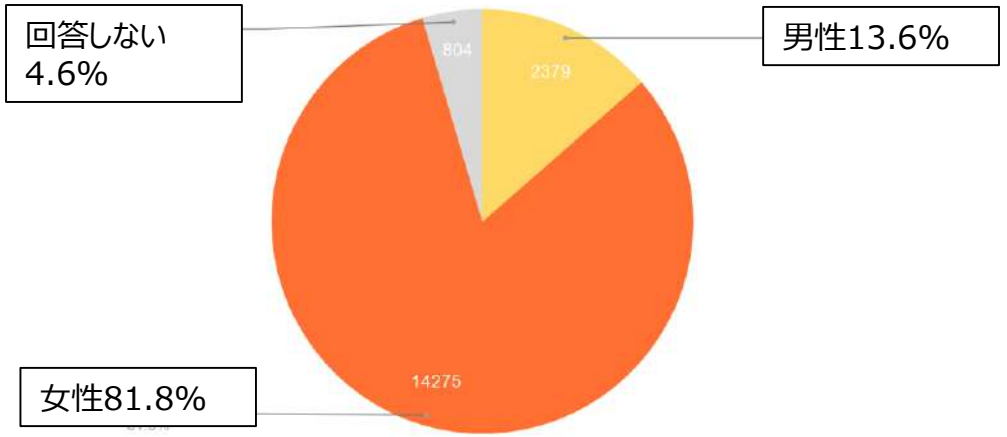
- 回答者は**平均２.７つ**を回答
- 理由の自由記述欄の**平均回答文字数は１１４文字**であった。
- 当勉強会や自民党に対する明確な**批判は6件**であった。

実施期間	2021年2月8日20時 ～ 2021年2月21日21時（14日間）
回答人数	17,458人（うちハンドルネームあり6,630人、メールアドレスあり3,644人）
意見数	合計意見数48,052件
性別	男：2,379人　女：14,275人　回答しない：804人
年代	10代：280人　20代：4,999人　30代：7805人 40代：3,139人　50代：885人　60代以上：350人
子どもの数（任意回答）	0人：6,805人　1人：4,858人　2人：3,818人 3人：988人　4人以上：180人

調査分析(属性分析)

調査分析（属性分析：性別/年代別）

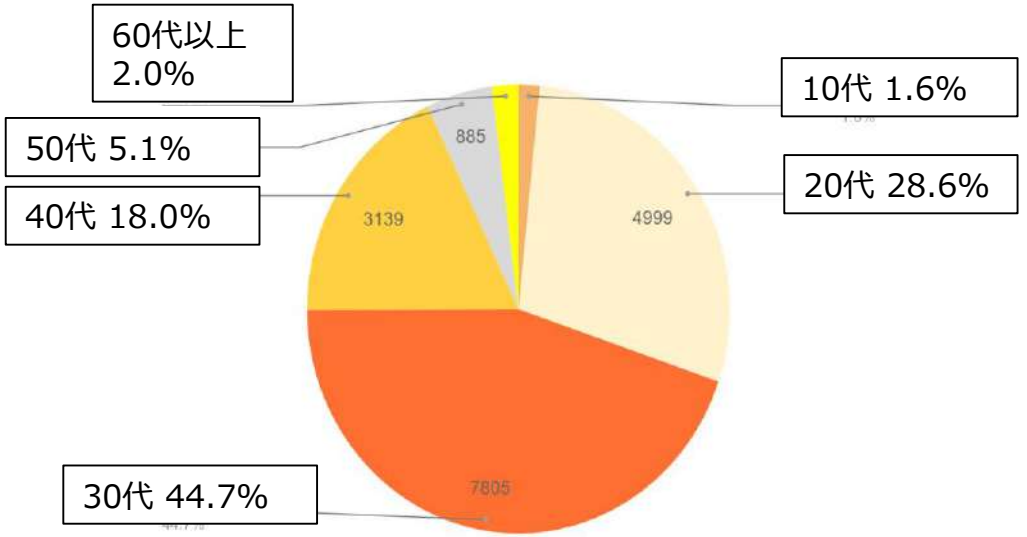
性別



ポイント

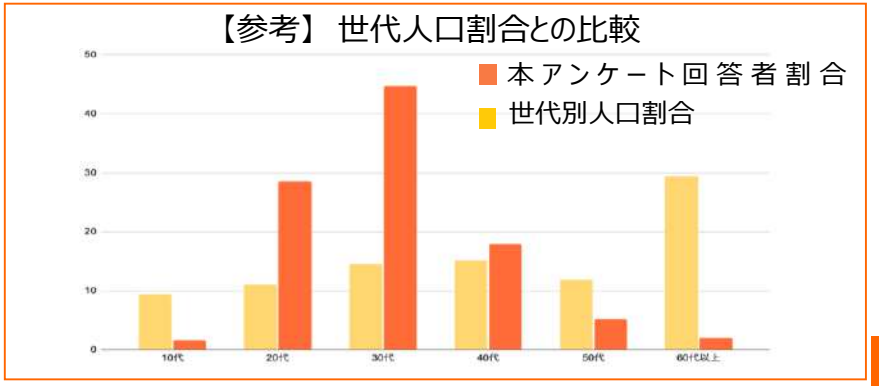
- 回答者の性別構成割合は、
  男性13.6%、女性81.8%、回答しない4.6%
- 回答者の性別構成割合は、実人口の割合
  （男性：48.6%、女性：51.4%)と大きく異なる。
- **女性の方が日常的に子ども･子育て行政に関して不安や要望を抱えている**のではないか。

年代



ポイント

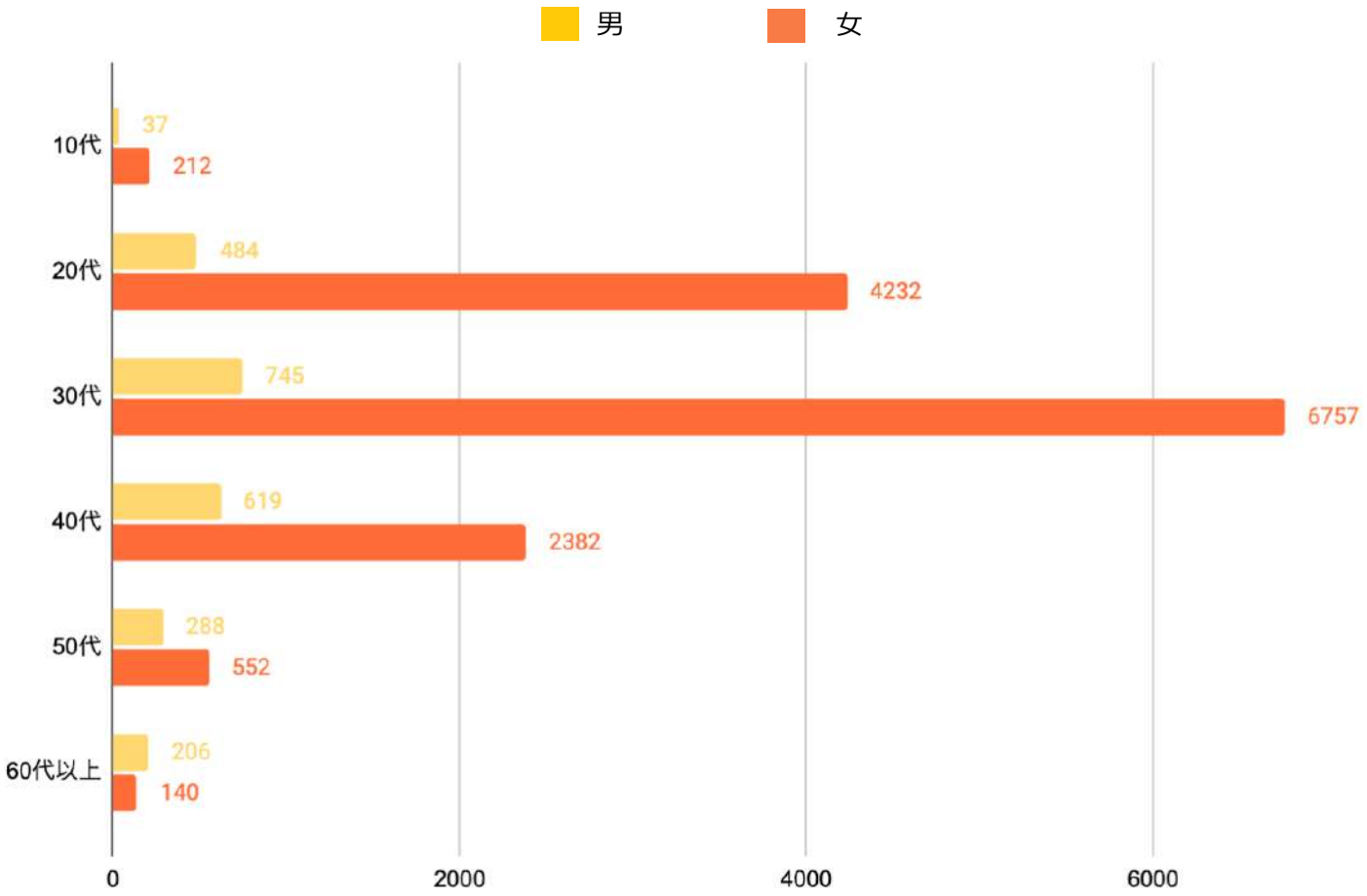
- **20代と30代からの回答が73.3%。**実年齢の構成比と比較しても、**20から30代の回答比率が極めて高い。**
- 20代から30代の声が強く反映され、10代、60代の声は弱く反映されている。



1) 実人口の算出に際し、「性別」：総務省人口推計（2020年12月速報値）、「年代別」：総務省労働力調査（2020年7－9月）より作成

調査分析（属性分析：年代×性別）

年代×男女



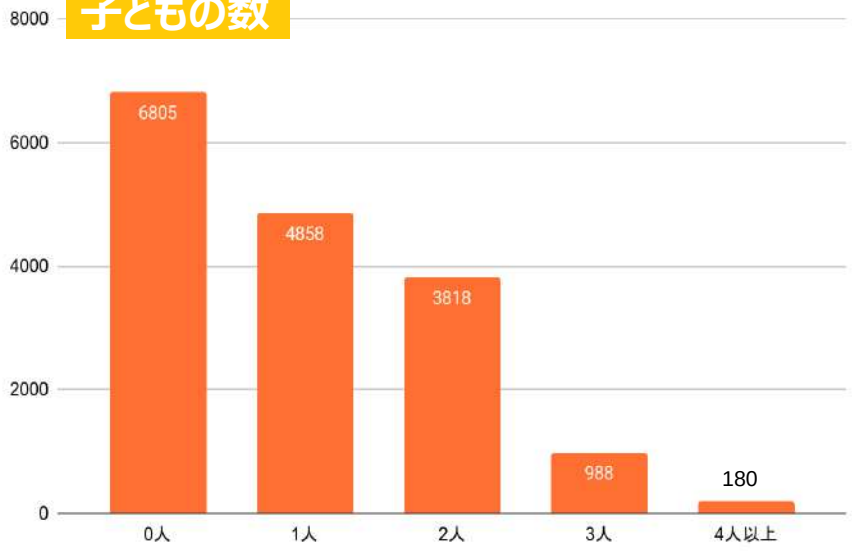
ポイント

- **「男性」**
  30代が最も多く、次に40代、20代と続き、10代が最も少ない。
  60代においてのみ女性の回答数を上回る。

- **「女性」**
  30代が最も多く、次に20代、40代と続き、60代以上が最も少ない。
  子育て世代の比率が突出している。

調査分析（属性分析：子どもの数/子どもの数×性別）

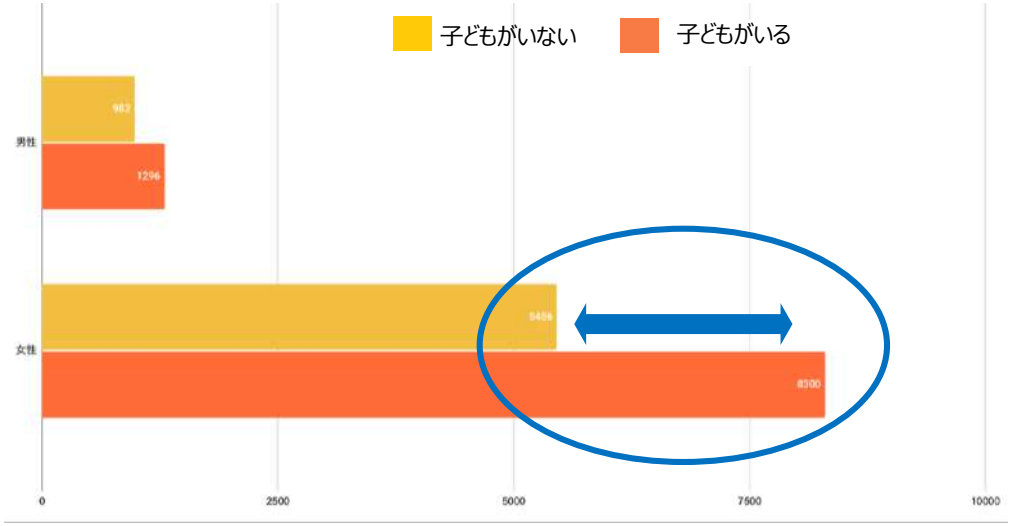
子どもの数



ポイント

- **「子どもがいない層」は36.2%、**
  「子どもがいる層」は63.8%と、子どもを持つ層の回答が上回った。
- 日本の総人口における子育て世帯は23.3%（※）のため、本アンケートは子育て世帯の声を強く反映している。
  ※2017年国民生活基礎調査結果

子どもの有無×男女

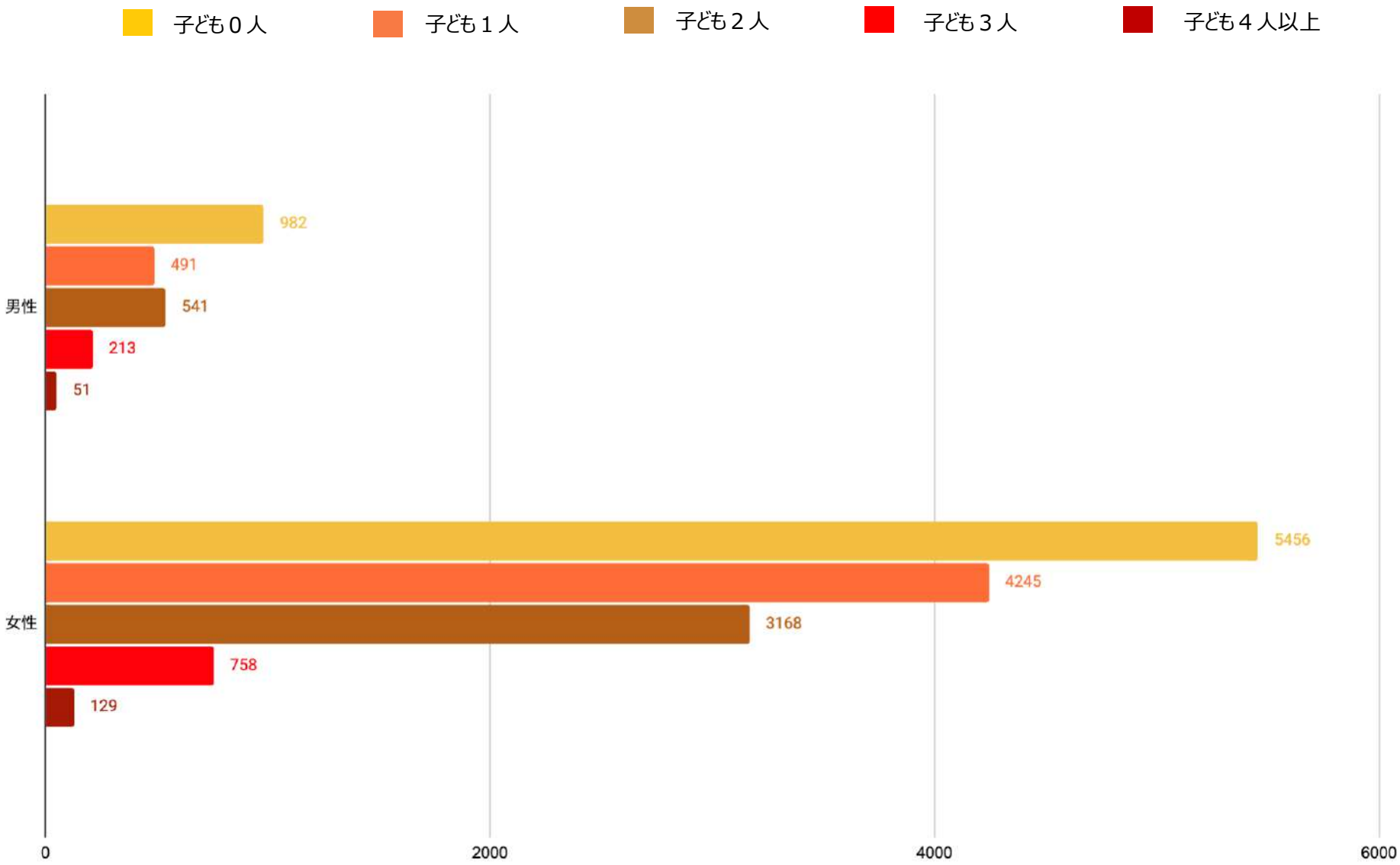


ポイント

- 男性回答者には、子どもの有無でほとんど差異が見られなかったが、**女性では子どもを持つ人の回答が多かった。**
- 本アンケートは**女性の子どもを持つ人々の声を強く反映している。**

※上記表と左記表の実数の差異は、子どもの有無を回答した方の中で、性別を「答えない」とした方（615名）がいるため。

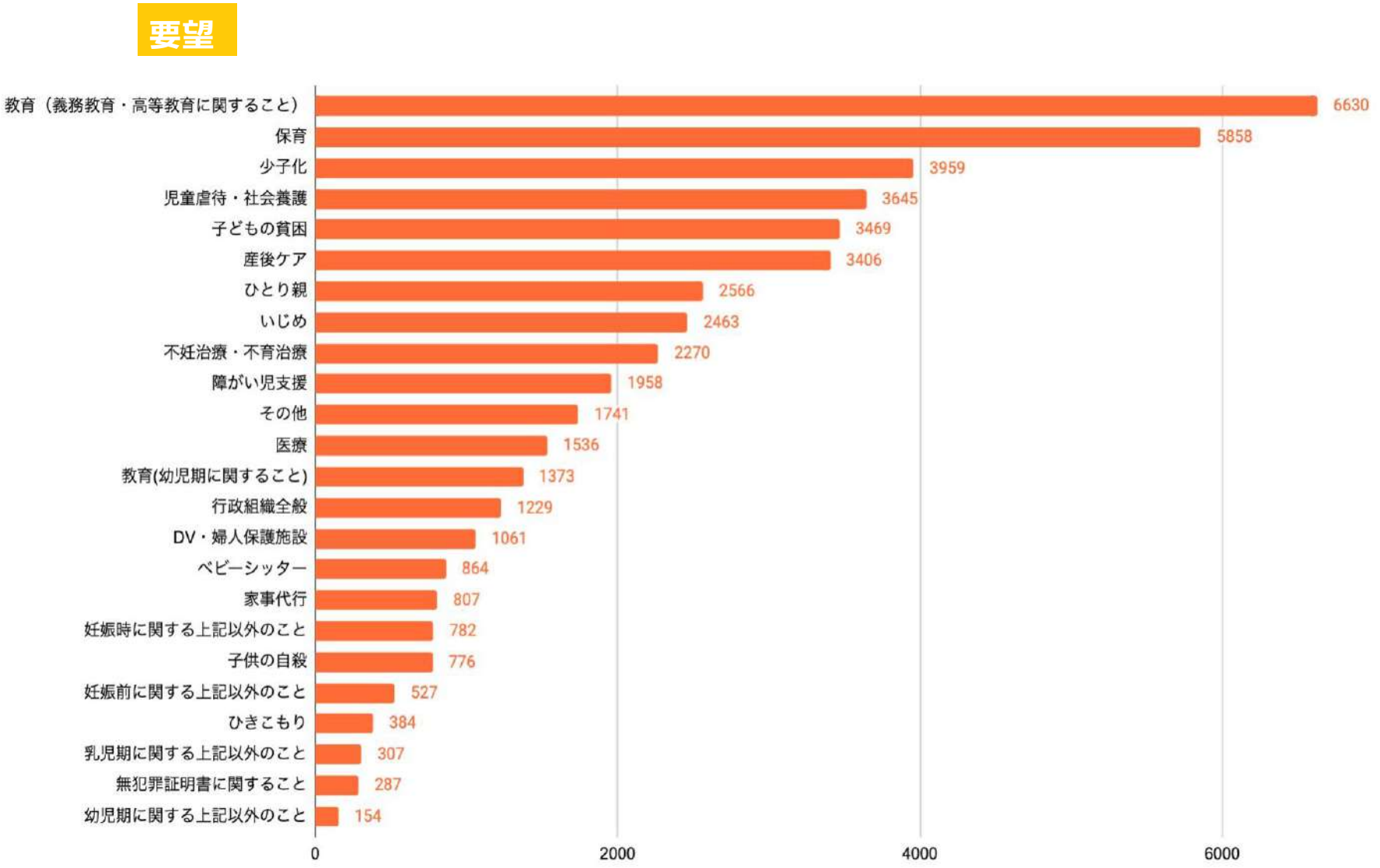
調査分析（属性分析：子どもの数×性別）



調査分析（クロス分析）

調査分析（全体結果）

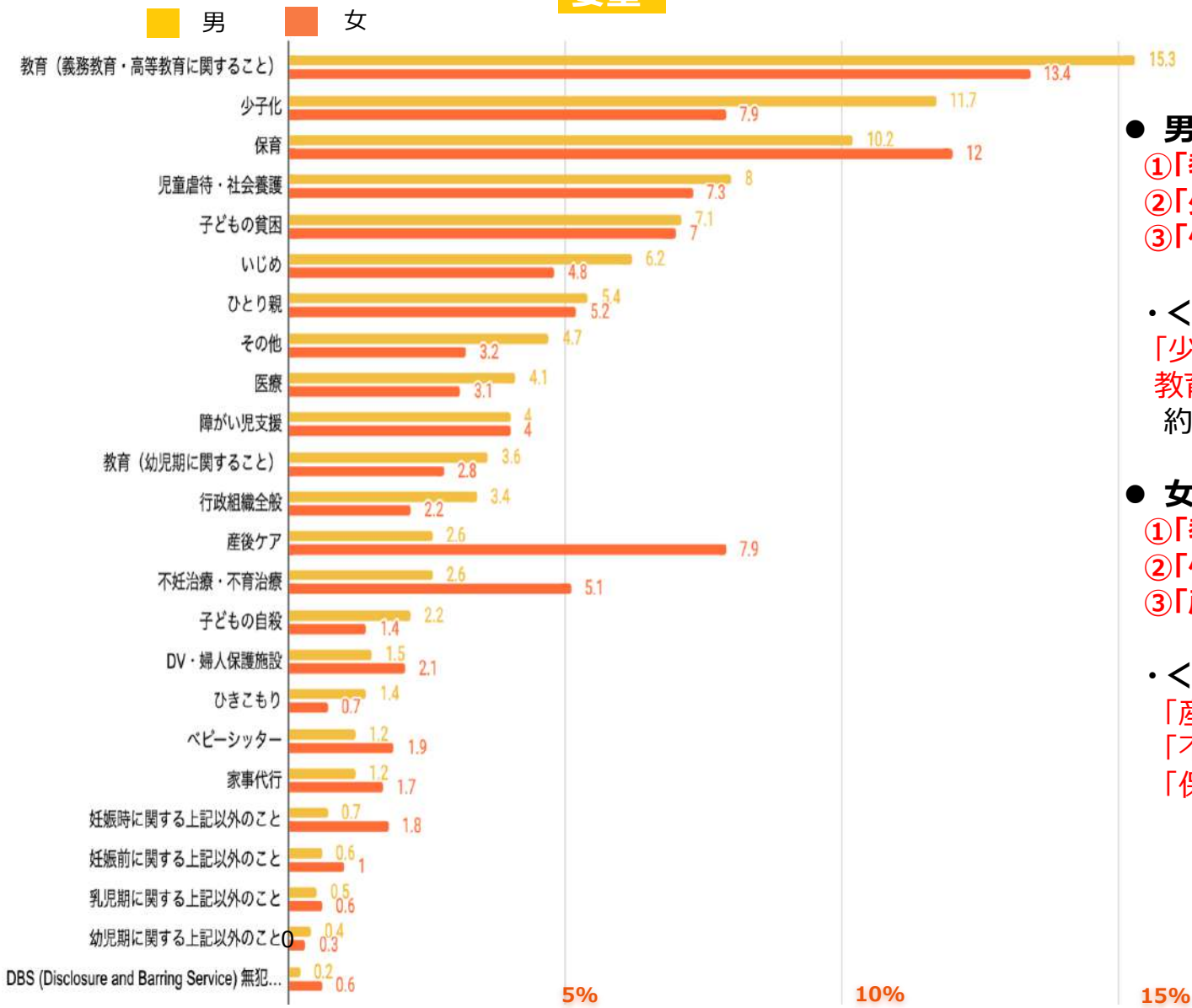
- 全回答48,052件の要望数の順位



調査分析（要望×性別）

「回答件数」に基づいた比較は行わず、
男女の回答割合を算出の上で、回答間の比較を行った。

要望



ポイント

- **男性**
  - **①「教育（義務教育・高等教育に関すること）」**
  - **②「少子化」**
  - **③「保育」** の順で要望が多い。

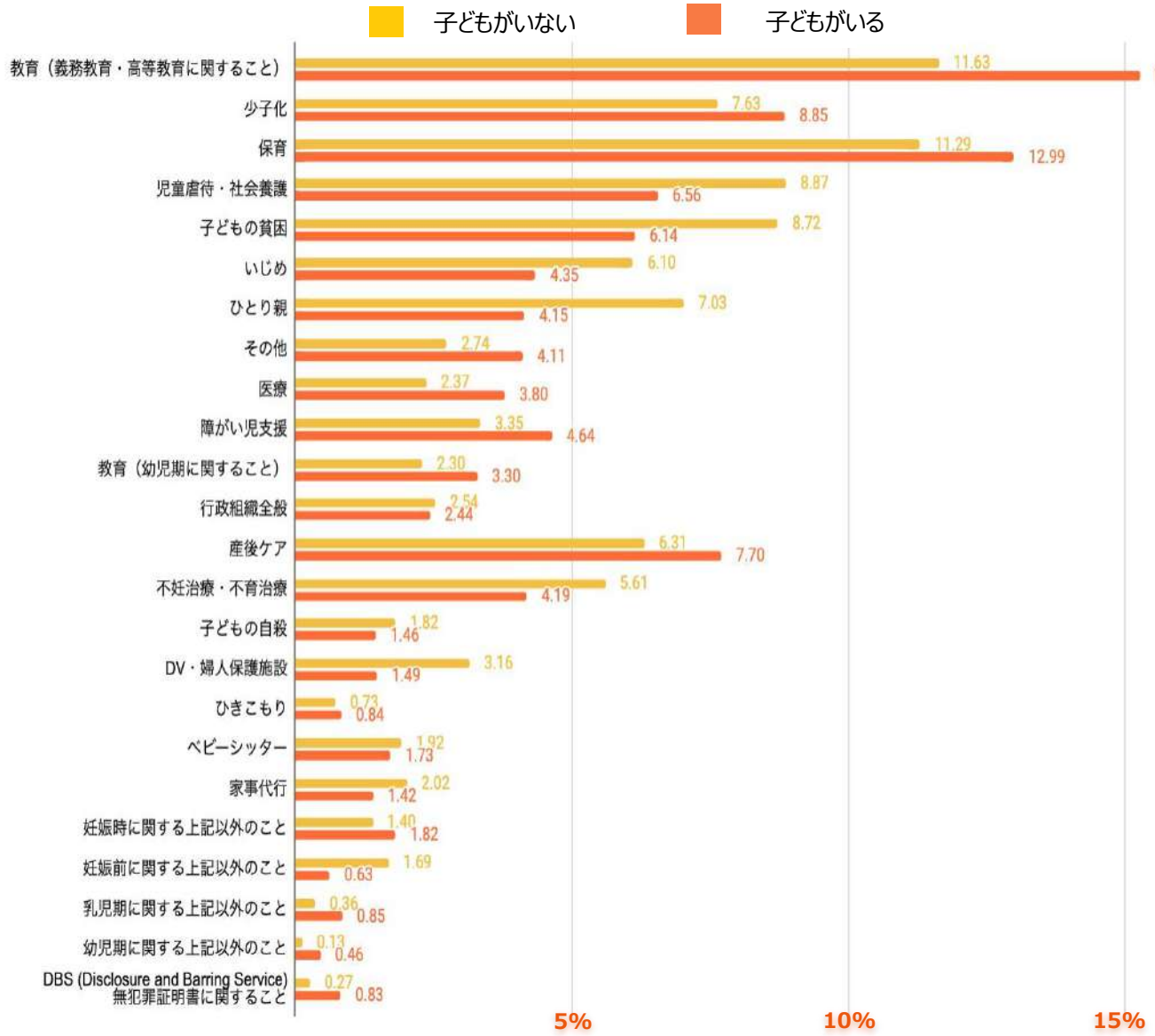
・**＜男性優位な要望＞**
「少子化」は3.8%、
教育「義務教育・高等教育に関すること）」は
約2%女性よりも高い。

- **女性**
  - **①「教育（義務教育・高等教育に関すること）」**
  - **②「保育」**
  - **③「産後ケア」** の順で要望が多い。

・**＜女性優位な要望＞**
「産後ケア」は5.3%
「不妊治療・不育治療」2.5%
「保育」では男性よりも1.8%高い。

調査分析（要望×子どもあり/なし）

要望



ポイント

- **子どもがいる**
  ①「教育（義務教育・高等教育に関すること）」
  ②「保育」
  ③「少子化」
  ④「産後ケア」 の順で要望が多い。

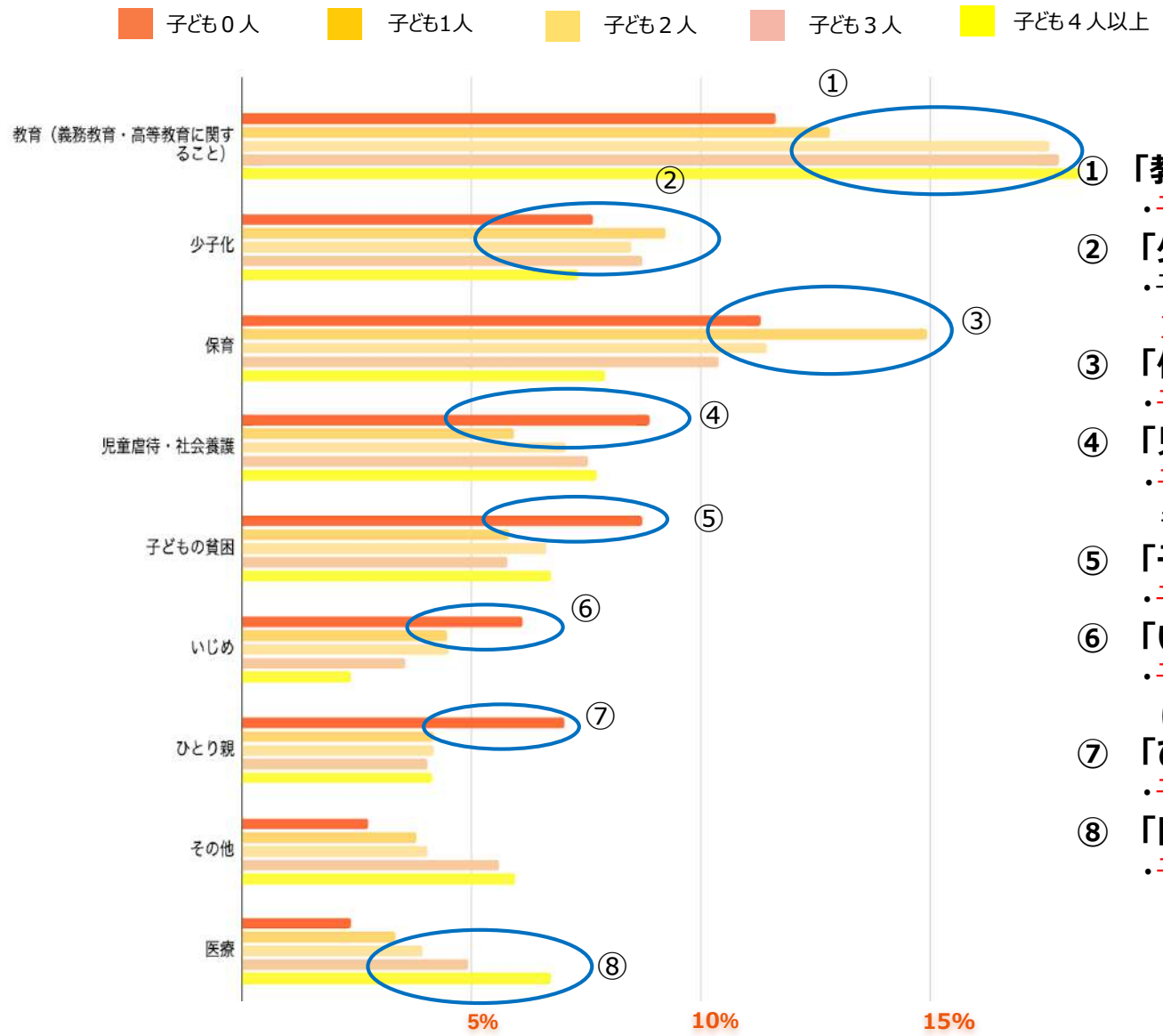
・＜子どもがいない層よりも優位な要望＞
「教育（義務教育・高等教育に関すること）」
に関しては、
「子どもがいない層」よりも3.6%以上高い。

- **子どもがいない**
  ①「教育（義務教育・高等教育に関すること）」
  ②「保育」
  ③「児童虐待・社会養護」
  ④「子どもの貧困」 の順で要望が多い。

・＜子どもがいる層よりも優位な要望＞
「ひとり親」
「児童虐待・社会養護」
「子どもの貧困」
に関しては
「子どもがいる層」よりも2%以上高い。

調査分析（要望×子どもの数①）

要望



ポイント

① **「教育（義務教育・高等教育に関すること）」**
- 子どもの数が増えるほど顕著に上昇。

② **「少子化対策」**
- 子どもがいない層よりも、子どもが1人～3人いる層の方が強く、逆に子どもが4人以上の層は要望が低い。

③ **「保育」**
- 子ども１人の層が顕著に高い。

④ **「児童虐待・社会養護」**
- 子どもがいない層が最も多く、子どもがいる層では子どもの数が増えるほど上昇。

⑤ **「子どもの貧困」**
- 子どものいない層がもっとも多い。

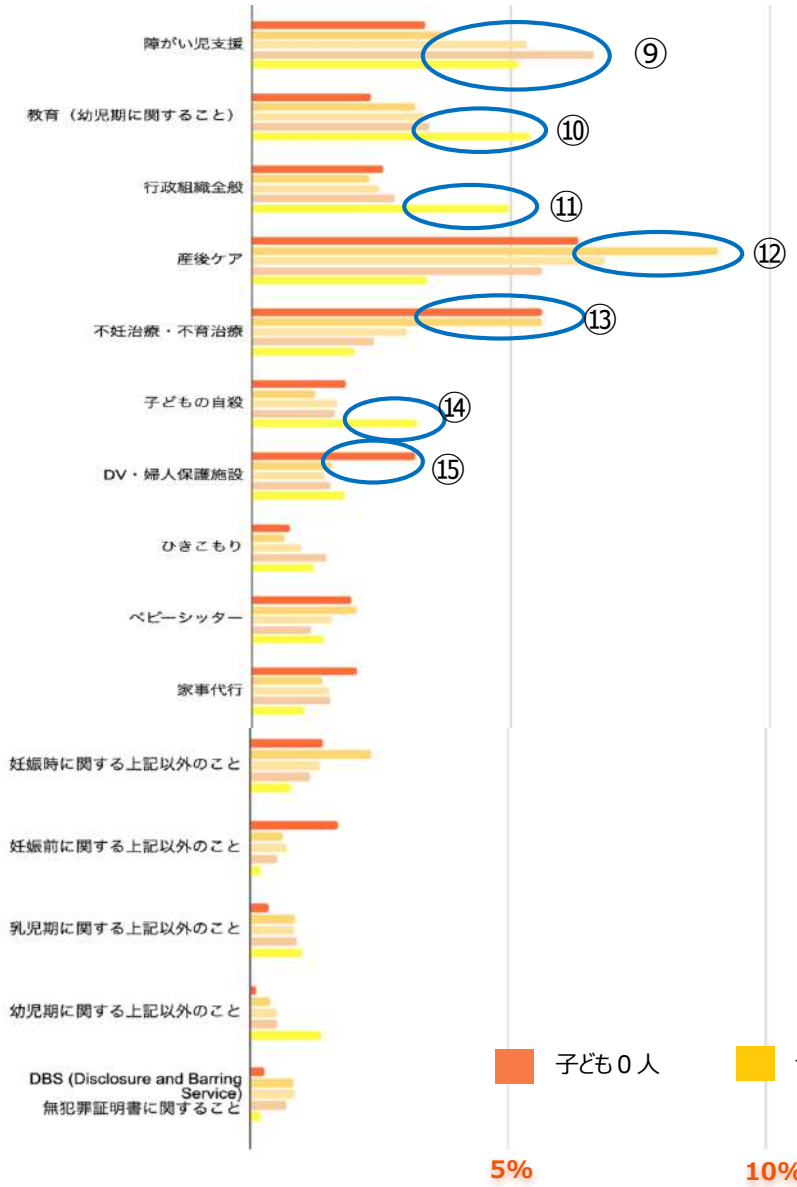
⑥ **「いじめ」**
- 子どものいない層で最も多く、子どもが4人以上の層では低い。

⑦ **「ひとり親」**
- 子どものいない層で最も多い。

⑧ **「医療」**
- 子どもの数が増えれば増えるほど顕著に上昇。

調査分析（要望×子どもの数②）

要望



ポイント

⑨ **「障がい児支援」**
- 子どもが3人の層で最も高く、子どもがいない層では顕著に低い。

⑩ **「教育（幼児に関すること）」**
- 子どもが4人の層で顕著に高い。

⑪ **「行政組織全般」**
- 子どもが4人の層で顕著に高い。

⑫ **「産後ケア」**
- 子どもが1人の層で顕著に多い。

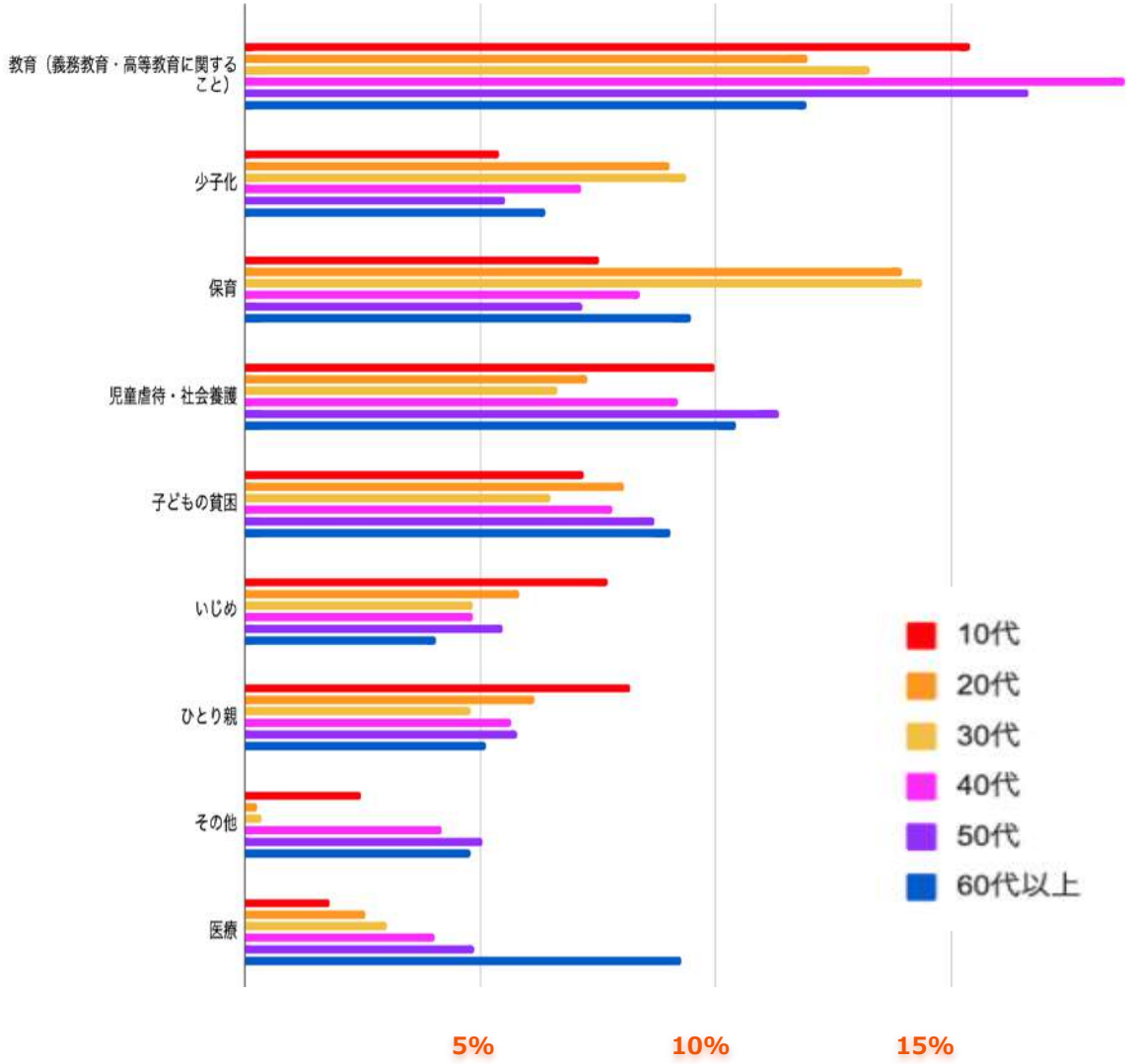
⑬ **「不妊治療・不育治療」**
- 子どもがいない層と子どもが1人の層で同じくらい高い。

⑭ **「子どもの自殺」**
- 子どもが4人の層で顕著に高い。

⑮ **「DV・婦人保護施設」**
- 子どもがいない層で最も高く、子どもがいる層では、子どもの数によって傾向の差異がみられなかった。

調査分析（要望×年代①）

要望



ポイント

- **年代ごとで要望の割合が高い順位は以下**

- **10代**
  ①「教育（義務教育・高等教育に関すること）」
  ②「児童虐待・社会養護」
  ③「ひとり親」

- **20代-30代**
  ①「保育」
  ②「教育（義務教育・高等教育に関すること）」
  ③「少子化」

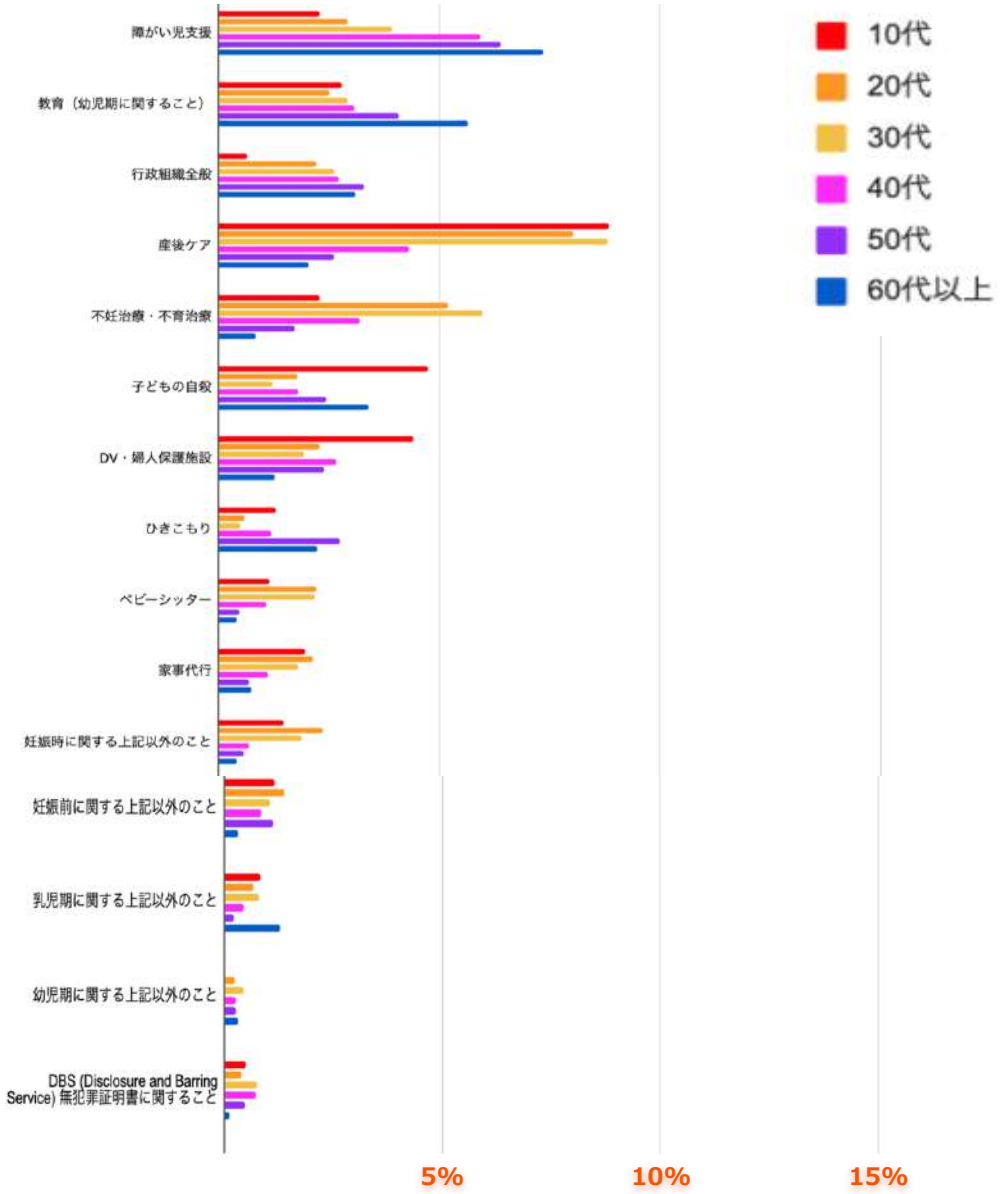
- **40代**
  ①「教育（義務教育・高等教育に関すること）」
  ②「児童虐待・社会養護」
  ③「保育」

- **50代**
  ①「教育（義務教育・高等教育に関すること）」
  ②「児童虐待・社会養護」
  ③「子どもの貧困」

- **60代**
  ①「教育（義務教育・高等教育に関すること）」
  ②「児童虐待・社会養護」
  ③「医療」「保育」

調査分析（要望×年代②）

要望



ポイント

- **順位外の傾向は以下**
- **「障がい児支援」**
  年代が上がるにつれて、顕著に高くなる。
- **「産後ケア」**
  10代-30代までが同程度に高い。
- **「子どもの自殺」「DV・婦人保護施設」**
  10代が顕著に高い。
- **「不妊治療・不育治療」**
  20-30代が顕著に高い。

具体的な提案や要望

具体的な提案や要望　①

・自由記述から主要な課題を抽出（全件読了し、分類を横断して要望を抽出）
・課題に対する具体的な解決策の記述も抽出した

①教育費負担の軽減、公教育の質の向上【約5100件】

【教育費の負担軽減】(約1900件)

・特に大学の学費の負担軽減、中間所得層への支援、義務教育での制服・鞄代の補助等を検討してほしい。教育費が高いので2人目、３人目を躊躇する。

【公教育の質の向上】（約1800件）

・塾などの学校以外の教育がないと大学進学が困難な状況で、親の収入で教育の質が決まっており、子供に格差が生じている。不登校の支援も含め画一的な教育から個を伸ばす指導に切り替え、公教育の質を向上してほしい。
・公教育の質の向上のために、学校の雑務、部活等は外部の人を雇用する、校内のICT化を進める等して教員が子どもに向き合う時間を確保してほしい。教員が激務で疲弊している。
・普通学級の教員は障害への理解が低いと感じる。支援学校内での教員と看護師の連携も強化し、支援学校の教育の質を上げてほしい。

【性教育の徹底、親になる教育の充実】（約1400件）

・義務教育での性教育を徹底し、望まない妊娠を一人でも減らしてほしい。また、不妊治療をさせないための妊娠適齢期の周知徹底。
・親になったあとの生活や育児のこと、子育てにかかるお金のこと、税金のこと等を全然知らなかった。親になる教育を充実させるべき。

②子どもの命を守る体制の強化と、子どもの意見を聞く仕組みづくり【約5000件】

【子どもの命を最優先に守る体制の強化】（約4800件）

・児童虐待、貧困、自殺は個人の力では解決できない。すべての子どもが幸せになるよう最優先で政治に取り組んでほしい。
・子どもの意見を積極的に聞く仕組みを作ってほしい。施設でも学校でも、子どものSOSを見逃さないことが必要ではないか。
・児童相談所の人員、予算の増加、他機関との連携を強化してほしい。専門家の育成も必要だが、地域の人も関われる仕組みが欲しい。働きながら必要な資格を取れる養成システムなどあれば、自分でも希望して働きたい、子供達の助けをしたい。
・育児が苦しく、子どもを虐待しそうな毎日。“今、この瞬間、誰か助けて”と思うことが何度もある。「電話口で適切に対応してくれる」「頼りになる」そんな仕組みがほしい。

【被虐待児の支援と虐待親への指導】(約200件)

・被虐待児の自立支援や虐待親への指導など、虐待の連鎖を繰り返さない支援を早急に充実させてほしい。

具体的な提案や要望　②

・自由記述から主要な課題を抽出（全件読了し、分類を横断して要望を抽出）
・課題に対する具体的な解決策の記述も抽出した

④不妊治療を含む産前産後の費用負担の軽減、産後ケアの充実【約5000件】

【妊娠・出産にかかる費用負担】(約300件)

・検診、出産の費用の高さが産んでみて初めて分かった。一時的に妊婦が高額な料金を支払うようなことがなく、また金銭を理由に妊娠しないという選択が出ない程度には充実させてもらいたい。

【不妊治療・不育治療の費用負担と社会の理解促進】（約2200件）

・不妊治療・不育治療の費用負担と社会の理解を促進してほしい。不妊治療で1人目はなんとかなっても2人目は経済的に困難。

【妊娠期の充実した医療と産後ケア】（約3000件）

・出産期の情報のなさと不安に一人で挑むのはつらかった。マイ助産師制度づくりを推進してほしい。
・無痛分娩を行う病院を増やしてほしい。地方では、小児科、産婦人科が近くになく選択肢がない。
・核家族で孤立した育児。産後のうつ状態になりかけた。産後ケアとして、緊急相談窓口が欲しい。
・産後うつの時に通院に使えるタクシーチケットや、安価な家事代行サービス、フレックス保育などがあれば利用したかった。

③社会の偏見なく預けたいときに預けられる柔軟で質が高い保育と、安心の提供【約4900件】

【保育の量と質の確保】（約3200件）

・保育の量と質を確保してほしい。そのために、保育士の待遇の改善と社会的地位の向上が急務、それがないと保育の質の向上はできない。現場を見ていると保育園をつくっても今のままでは保育士が確保できないと思う。

【多様な背景に合わせた保育の柔軟さ】(約1000件)

・共働きでも保育園に落ちた、兄弟で預ける園が違う、就活中だと入園要件を満たさない、医療的ケア児は預けられない、4月入学制度、フレックス保育の要件、ワーケーション先での受け入れ拒否等、保育に柔軟さがない。
・多様なニーズのために幼稚園・保育園・老人ホームをまとめた「幼老園」の様な、老人が保育を手伝える施設の拡充ができないか。

【社会の偏見をなくしてほしい】　（約400件）

・仕事をしないと家計が維持できないから子どもを預けているのに、それに対する社会の偏見を改善してほしい。

【DBSの制度化】(約300件)

・保育現場等での働く人の性犯罪に不安を覚えている。安心して子供を預けられるよう子どもと関わる職場で働くすべて人の無犯罪証明書の提出を制度化してほしい

具体的な提案や要望　③

・自由記述から主要な課題を抽出（全件読了し、分類を横断して要望を抽出）
・課題に対する具体的な解決策の記述も抽出した

⑤どのような状況でも育児と仕事を両立できる社会環境の整備【約4500件】

【どのような状況でも育児と仕事を両立できる環境整備】（約4500件）

・ひとり親はフルタイム勤務が難しく、貧困から抜け出せない。非正規でも正社員と同等の待遇を実現してほしい。
・働きたくても預けられる家族がいない、待機児童の問題で保育所がないので、子どもを持てない。
・待機児童問題は、女性が一度仕事を離れると戻ることができない環境のせいです。保育園の増設では解決しません。
・育児中の時短勤務は肩身が狭く、結局非正規に。仕事か子どもかを諦めざるを得ない社会を改善してほしい。
・働き方改革を進め、夫（または妻）が定時で帰宅できるよう働き方改革を進めてほしい。夫が深夜に帰宅している状況では子どもを持てない。
・産休社員が在籍している中小企業への減税など。企業側にも出産世代の女性を採用しやすく、産後に社会復帰しやすくする制度をつくってほしい。
・多子世帯に対する支援が薄く、仕事と育児の両立は困難。もう一人生みたくなる多子世帯への支援拡充をお願いしたい。
・娘が障害児です。支援は充実してきているが、家族の負担は大きい。だからこそ、社会とのつながりを保つために仕事を続けたい。障害児を養育しながらフルタイムで仕事ができるような環境になると嬉しい。

⑦扶養控除復活と、少子化対策の充実【約4100件】

【少子化対策の充実】(約2200件)

・政府や自民党は本気で少子化対策をする気がないのだと思う。産んでみて、支援の少なさと肩身の狭さを実感した。これでは少子化が進むのも納得。もっと子どもを産みたくなるような少子化対策をお願いしたい。
・子ども関連の政策に予算も人員も不足している。高齢者ではなく子どもにもっと投資してほしい。

【児童手当削減へ不安と扶養控除復活】（約1900件）

・児童手当の削減をして待機児童問題の解消をするなど逆行政策への不安。児童手当を削減したのであれば、せめて扶養控除を復活させるべきではないか。子どもや子育て世代に冷たいと感じる。
・児童手当の所得制限は大変残念。子どもが3人いるが、国立大学でもお金がとてもかかる。きっとお金の問題で3人目の子どもを諦めている夫婦がたくさんいると思う。3人目の子どもを授かりたい夫婦が安心して育てられるようにして欲しい。

具体的な提案や要望　④

・自由記述から主要な課題を抽出（全件読了し、分類を横断して要望を抽出）
・課題に対する具体的な解決策の記述も抽出した

⑥SNS等での緊急相談窓口や支援情報アプリの提供、広報の強化【約2500件】

【緊急の時につながることができるSNSや相談ツールの構築】(約1900件)

・核家族化、共働きで近くに頼れる人がいない。ピンチの時、精神的に助けが必要な時に簡単につながれたり支援がわかるSNS窓口や相談ツールが欲しい。

【支援の仕組みがわかりずらい、支援全体像をネットで知りたい】(約600件)

・行政のサービスや仕組みの全体像がわからず、自分で役所に行き聞かないと支援に行きつけない。アプリなどで全体像を知りたい。
・保育所とは別に、こどもに関する相談ができる場所があると良い。LINEやSNSなど、子どもを持つ世代にアクセスしやすい行政フォームや子育て行政botで受けられる支援が分かるなど、時間を気にせず気軽に返信がくるものの方がニーズが高いと思う。
・広報の担当に民間のデザイナーを多数加えるべきかと思います。デザイナーは、情報を整理して分かりやすく伝えるプロなので。
・個人で探そうと思ってもホームページは各県市町村で形態が違い、探したい情報が見当たらない。一次ソースとして積極的で分かりやすい広報を心掛けてほしい。

⑧いじめへの厳罰化と、いじめ加害者への支援【約2300件】

【いじめの厳罰化】（約2000件）

・「いじめ」という表現でまとめるのではなく「暴行」「傷害」「恐喝」等、明確に犯罪として扱い、度を越えたケースは刑事事件にするべき 。

【いじめ加害者への支援】（約300件）

・加害者側に専門的なカウンセラーによるメンタルケアが必要。学校のカウンセラーも持ち回りではなく常駐化してほしい。

⑨育児中に息抜きができる支援の充実【約1500件】

【育児中の息抜き支援】

・ちょっと買い物に行きたいけどいけないといった、誰かが居てくれればすぐに解決できることがたまってゆく。本当の意味での気が休まる時間などは持てない。孤独な育児でも自分の時間が持てるような仕組みがあれば嬉しい。
・大手の事件のこともありベビーシッターへの不安が払しょくできず利用できない。子どもを安心して預けられるベビーシッターの派遣を行政がしてもらえると安心する。
・住んでいる地域にベビーシッターの支援があったが、申請が複雑で面倒だったため、途中であきらめた。忙しいなかでも利用しやすい支援でないと結局使わない。

具体的な提案や要望　⑤

・自由記述から主要な課題を抽出（全件読了し、分類を横断して要望を抽出）
・課題に対する具体的な解決策の記述も抽出した

⑩当事者の声をもっと聴いてほしい、政治や行政に子育て経験者を【約1400件】

【ネットアンケートで定期的に当事者の意見を聞いてほしい】（約1000件）

・忙しく時間がない親（特に20－30代）にはネットアンケート大賛成。紙や役所でのアンケートは時間がかかる。
・これまでこのような意見を直接言える機会がなかったので定期的に実施してほしい。Zoomなどをつかった座談会の実施など研究者以外からの積極的なヒアリングをしてほしい。

【政治や官僚に女性と育児経験者を】（約400件）

・国が出してくる政策はどれも「そうじゃないんだよなあ…」と思う程世間とズレがある。政治家や官僚など子ども行政に女性や育児経験者を入れて当事者の意見を反映した政策を企画推進してほしい。子育て世帯の実態調査をしてほしい。
・待機児童のように社会問題化してから対応し、他を疎かにするようなやり方は改めて欲しい。仮説立案、ニーズ調査から政策評価までのサイクルを仕組み化して、きめ細かく拾い上げる体制を。
・夫が国家公務員ですが、国がこれほどブラックな勤務体制では、女性や育児時短勤務者の登用が進まないと思う。政治や行政から働き方改革を進めて女性の声が反映される行政の体制が必要。

⑪DVや婦人保護施設等、困難を抱える人が必要とする人に届く支援の拡充【約1000件】

【ＤＶで悩む人に支援が届く体制整備】（約800件）

・ＤＶに悩み相談しているがたらい回しにされている。必要な人にしっかり届く支援をしてほしい。
・民間の相談機関で働いているが相談の9割はＤＶ。しかし、民間では介入できない案件が多い。現場から見ても、この分野はNPO等と協業体制をつくり進めるべきでだと思う。
・保護シェルター等、DV被害者が逃げ込める場所の拡充をお願いしたい。行政ができないのであればNPOへの補助をしてほしい。

【ひとり親等、困難を抱える親への支援拡充】（約200件）

・ひとり親の支援拡充をお願いしたい。働いても貧困から抜けだせない。働いているので、子どもとの時間も少ない。
親の貧困で子どもに質の高い教育を受けさせてあげられない。子どもに罪はないので、平等な機会を与えてあげたい。
貧困の連鎖を止められるのは政治だけ。
・学生で妊娠し退学させられる、公園で出産する、といった人への支援は待ちの体制では救えない。プッシュ型でアウトリーチに予算をかけてほしい。

具体的な提案や要望　⑥

・自由記述から主要な課題を抽出（全件読了し、分類を横断して要望を抽出）
・課題に対する具体的な解決策の記述も抽出した

⑫支援の充実度の地域格差【約900件】

【妊娠・出産等の費用の地域格差】（約780件）

・市区町村によって子育て支援（妊婦検診、出産費用、子どもの医療費、障がい児負担等）の充実度が違いすぎる。もう少し国の制度を増やして均等にしないと格差がさらに広がっていく。
・発達障害の子供がいるが、昔に比べて手厚くはなっている。しかし療育期間があまりに短く手厚い地域との差がひどいため引っ越しを考えている。
・小児科医をしているが、転勤のたびに医療手当等の支援の格差に驚く。どこに住んでいようと子どもには同様の医療負担で質の高い医療が提供されるべきと思う。

【自治体の好事例を展開】（約120件）

・明石市のようなよい取り組みをしている事例の横展開するべき。また、そのような市町村には国から予算を多くつけるなどすれば、チルドレンファーストの市区町村が増えるのではないか。明石市のような支援と体制があれば出産する勇気がわく。

⑬行政手続きの一元化・簡素化・オンライン化【約550件】

・赤ちゃんや子どもを抱えて行政窓口に行くことが困難。相談窓口があっても同居家族の目があったり子供から手が離せず受付時間内に相談できない。オンライン化して欲しい。窓口必須の支援にはタクシーチケットがあれば行きやすい。
・窓口で課が違うごとに何度も同じ情報を書かされる。情報を共有して一元化してほしい。
・せっかく相談してもたらい回しにされる。子ども庁では窓口の一元化とデジタル化を進めてほしい。

⑭「その他」を選んだ人の主な要望【約1700件の内訳】

①結婚・出産・子育てに関する金銭的な不安。賃金が安く子どもを持とうと思えない。子育てにいくらかかるのか分からないことが不安。
②欧米に比べて遅れている日本の性教育を充実させてほしい。性被害の自覚、望まない妊娠の予防、出産適齢期の周知のため。
③育休取得促進、マタハラ対策、働き方改革等の出産・子育てがしやすい社会環境の整備
④離婚後の共同親権、面会交流等の法整備。離婚後に子どもに会えずに苦しんでいる親も多いことを知ってほしい。
⑤政治、行政の子どもにかける予算が少ない。もっと子どもや子育て世代に充実した予算をつけてほしい。
⑥同姓パートナーの里親等の要件緩和。代理母出産の実現。同性カップルでも子どもを持ちたいと願う人は多い。子どもにとっても施設より同性カップルの家庭で幸せに育つ方がいいのではないか。

主な意見（抜粋）

主な意見抜粋【教育（義務教育・高等教育に関すること）①】

意見	性別	年代	子ども
お金がないといい教育をうけさせられないことが、子供を作ることの不安へとつながっている	男性	30代	2人
古いままになっている教育現場を整えてもらいたいです。**教師が絶対みたいな教育、みんな同じが良いという同調だけではなく個々を伸ばす環境に向けて変化を望んでいるから。**	女性	40代	1人
特に小中学校の先生方はこなすべき仕事が多く、大変なお仕事だと聞きます。**先生方の給与の増額や、削減できる仕事、書類等がないか、現場の声をきちんと聞いていただけたらと願います。**	女性	30代	0人
日本は教育費が高すぎます。特に国公立大学の学費は高すぎます。年収600万を超える決して貧困ではない家庭は逆に国の補助も打ち切られるので大学に行かせられないからと2人目以降を産むのを躊躇している話をよく聞きます。少子化の原因になっていると思います。	女性	50代	2人
周囲の話を聞いていると、校区によって児童数の差も激しく、**クラスの半数が中学受験をするというが塾に通える環境とそうでない環境の子と格差が出やすいように思います。**	女性	30代	2人
国立大学で働いていますが、法人化から既に16年、毎年予算が削減され続け最早限界です。先生には年間20万円程しか研究費が配分できず、これで十分な教育、研究ができるとは到底思えません。	女性	40代	2人
大学の学費を安くしてほしい　教育ローンを払い終える頃には婚期も妊娠適齢期も過ぎてしまう。	女性	30代	1人
現在小学校で教員をしており、学校現場の限界を感じている。子どもたちの能力の差も激しく、一斉授業には限界があると思う。	女性	20代	0人
少子化ならそれを逆手にとり、10～20人程度で1クラスで運営し、1人1人充実した教育をさせるべき。また情報リテラシーの授業と社会の仕組みは特に注力するべき。	男性	20代	0人
子どもの貧困問題と通じる部分ですが高等教育を受けられる子どもと受けられない子どもの差は経済的理由が一番多いと思います。**未来を担う子ども達が必要な教育を親の経済レベルに左右されず受けられる社会をお願いします。**	女性	50代	1人
地方と都会、どちらにも住んでいた経験があるが、非常に格差がある。地域差をなくしてほしいし、親の収入によっても教育に格差が出てくるのもどうにかしてほしい。	女性	20代	0人
塾に通わないといけない義務教育はおかしいし部活等で教師が疲弊している事実もおかしい。性教育も必要だと感じるので積極的に専門的な外部の人を講演会に呼ぶなどしてほしい。	女性	30代	1人
教育の無償化。高校の授業料に関しては現在所得制限が設定されていますが、今回の**児童手当の特別給付廃止で、失礼ですが自民党への信用を失いました。育児や教育資金に関しては数十年単位で計画するものなので、年少扶養控除と引換だった給付の廃止が行われるような国で子どもを安心して産み育てることはできません。**所得制限つきの現金支給ではなく、子どもであれば誰でも教育を受けられるというシステムを構築していただきたいです。	女性	30代	1人

主な意見抜粋【教育（義務教育・高等教育に関すること）②】

意見	性別	年代	子ども
教員の負担が大きすぎる。ケースワーカーのような役職をおいて、学習面と切り分けて分担してほしい。税金がちゃんと遣われるなら増税しても構わないので、等しく教育を受けられるよう無償になってほしい。	女性	40代	4人
東京都では中学受験をするのが当たり前になってしまっていること。**公立こそがベストとなれば教育格差も虐待も生まれない。**平和な学校、働きやすい学校を増やし、**先生にとっても、家庭にとっても、子どもにとっても良い公教育を提供してほしい。**	女性	30代	2人
もし学費の負担が少なくなれば3人目を産もうと思えるので。	女性	30代	2人
小学校教育のアップデートが進んでない印象です。また、**先生たちの研究や部活動への参加などで業務を圧迫するのも、最終的には子供への関わりや学校運営への影響が大きくなると思います。**	女性	30代	1人
軍隊のような教育がなされている、としか思わない。**自分の意見を言える、自分を大事にして過ごせる、人権がある、もっとパーソナルを尊重した教育を目指して欲しい。**	女性	30代	2人
義務である学校はとてもありがたい事、ですが、コロナで休校の時期に入学した娘は学校に行きたがらない事がほとんどです。お友達とは良く話しているし勉強も問題無く先生の話もきちんと聞いている何も問題は無く学校生活を送っている下校も近隣のお友達と遊ぶ事もある。なのに学校に行きたがらないという子供が沢山おります。行かなければ行けないという義務に疑問を感じてしまいます。**学びの場は色々な場所で出来るように、全ての子供達に自由な選択と場を与えて欲しい。**	女性	40代	2人
学業だけでなく地域の一員である公共性の意識。道徳、コミュニケーションなど社会性を身につける教育をすべき。また、日本人である誇りを持てる教育をして欲しい。	男性	40代	0人
困りごとは家庭により様々だし、年齢に応じて変化していくので、待機児童のように社会問題化してから対応し、他が疎かにするようなやり方は改めて欲しい。**仮説立案、ニーズ調査から政策評価までのサイクルを仕組み化して、きめ細かく拾い上げる体制を。**また、**家族・子ども関係の予算が少な過ぎる。**出来ることしかしないではジリ貧なので、こども国債など資金調達の仕組みを。	男性	30代	2人
子どもの権利を義務教育で伝えない限り、わいせつ教師や虐待親に対して戦えないから。	男性	50代	0人
公立の教育の質が高まらない限り、貧富の差が拡大する。政治家や官僚が自分の子供に公立で学ばせたくなるような学校に公立の学校を変えてほしい。	回答しない	30代	2人
性教育がまるでされていません。元教員ですが、法律のせいで教えたくても教えられない状況です。自分自身を大切にする教育を受けさせたいです。自分の子供には家庭で行いますが、相手がいることなので限界があります。	女性	30代	2人

主な意見抜粋【保育①】

意見	性別	年代	子ども
女性の社会進出をと推奨するなら、働きながら子供を育てていけるサポート環境が必要。働きながら育児もしろというのは無理。	女性	40代	1人
保育申込書類では何度も住所氏名、勤め先を書かされる。情報を一括して。下の子の育休中に上の子の保育申請をしたら「復帰してからまた育休取って」と無茶を言われ断念した。	女性	40代	1人
保育園が少なすぎて働きたいのに保育園に入れない。仕事が決まってないと保育園に入れないが、預け先が決まってないと就職活動ができない。	女性	20代	1人
保育施設の拡充、関係職員の待遇改善(職員個人個人に恩恵があるように)	女性	30代	1人
待機児童問題を解決する為に所得が高い人の児童手当を無くすのはおかしい。児童手当を開始するにあたり廃止した控除も復活せず税金ばかり高くなっていると感じる。	女性	30代	1人
不妊治療で仕事を辞めてしまい認可保育所への入園は絶望的。認可外なら可能性あるが保育料が高額で家計が辛い。**就職活動者でも入園できるようにして欲しい。**	女性	30代	1人
現在こども園に子供を1人預けていますが、時間的な縛りが多く(必ず時間通りに迎えに行く、土日の預かりがない、呼び出しで必ず行かなくてはならない、病児保育が使いづらい)で、**祖父母の助けがないとパート以外で働くのは実質無理です。小学生に上がればもっと預けづらいとのこと、フルに働くのはほぼ無理です。**	男性	40代	1人
大阪府吹田市ですが、**保育園に入れないので……就職先が決まっていてフルタイム予定でもそうなので。**	女性	30代	2人
リフレッシュ保育をもっと気軽に使いたい。専業主婦でも一時的に使用する事は悪くないと思う。母親に対して何もかも求めすぎ。	女性	20代	1人
出産前は銀行、損保にて就労。**4人出産後に保育士免許を取得し認可保育園、数園でパート、正規職員として働いたが、どこも一般企業と比べてブラックでとてもじゃないけど働きづらかった。使い捨てのように扱われ、先生たちが目まぐるしく入れ替わる。これでは子供にいい影響は無い。**我が子は四人とも幼稚園だったが先生の入れ替わりの少ない幼稚園で四人とも落ち着いて過ごすことができたと思う。ブラックの内容は上げたらきりがないが、**これではやめる保育士が多いのが理解できた。**自分は現在は銀行で、就労中。企業から私個人を大切に扱われていると感じ家庭と両立しながら安心して働けている 。**保育園を増やせばいいは、間違っている。保育士不足の園がどんどん増えるだけで、質が落ちる。保育園を増やす費用を、育休を長くとれるように支援する費用にするなどした方がいいと思う。**	女性	40代	4人以上
保育園のために四苦八苦し点数を稼ぐため子の誕生月さえ考えなければならない現状は本当におかしい。**年度の途中でも、またパートタイムでも柔軟に預けられる制度を作るべき。**また**「子どもを預ける＝かわいそう」世代の呪いにかけられている母親は意外と多いです。そうした呪いが、地味に2人目や3人目を産まないという選択につながっている部分は少なからずあると思っています。**産みたい、でも預けたいという気持ちが両立してもいいのでは？	女性	30代	2人

主な意見抜粋【保育②】

意見	性別	年代	子ども
現状3～5歳クラスに限定されている保育料の補助ですが、0～2歳にもお願いします。エリアによってはまだ認可保育園に入れないエリアもあり、認可外や認証の保育所に預ける家庭も多い現状です。補助があれば、認可保育園に入れなくても、高額な認証や認可外保育園への入園を担保に、復職を算段しやすくなります。	女性	30代	1人
我が子を育てながら保育士をしていますが、今辞めるか迷っているところです。保育士の待遇を良くし、人員が増やせるようにしていただきたいです。薄給で残業代も出ず、持ち帰り仕事も無くなりません。人が居ないので休憩も全く無く、昼食は5分で子どもを見ながらかき込んでいる毎日です。保護者からの要望も増えたり、困ることも多いです。辛いです。パートを増やすとか、子育て経験ある人を採用とか…その分子どもは受け入れられますが、結局は正規職員が責任を負い、書類や連絡帳も書くのですから負担が増えて辞める人が増えるに決まっています。 あとは、0歳児3人に対して大人1人のように決まっていますが、それを緩和して欲しいです。**1.2歳児6人に対して大人1人…厳しいです。余裕が全く無く、無法地帯ですよ。現場を知った上でそろそろ考え直していただきたいです。**	女性	20代	1人
市町村によって育休中でも未満児が預けられたりそうでなかったりするので統一してほしい。兄弟別々の園になった場合の親の負担も考えて園を決める基準を考えて欲しい。	女性	20代	1人
2歳児クラスまで保育可能な認可外保育園に通園中。今年で3歳になるため来年度から新たな保育園に入園できるかが心配。見学したとある認可保育園では定員は空いているが保育士不足により受け入れられる園児を減らしているという話を聞いた。保育士の数を増やすとともに、**これまでコロナ禍にもかかわらず保育を続けてくださっている保育士さんたちにさらなる待遇を希望。**	女性	20代	1人
私は元保育士でした。保育園の仕事と給与が釣り合わないと感じる事が多々ありました。辞める保育士も沢山見てきました。早急に保育士の待遇改善をしてください。	女性	30代	2人
市が小規模保育園ばかり増やし、結局そこにしか入れず。**2人目を望んでいるが、生まれるタイミングによっては上の子どもの3歳からの転園が取り消しになってしまうので困っている。**小規模ばかり増やすのはやめて欲しい…5歳までの園に入れた親と小規模に入れた親では2人目を産むことすら難しくなる。**妊活のタイミングがかなり限定される。タイムリミットがだんだんなくなる。**	女性	30代	1人
自身が大病をした際に子供の預け先が見付からず、大変な思いをしました。藁をもすがる思いで足を運んだ行政には「自分でどうにかしてください。」と冷たくあしらわれ、私の体調が悪い時、子供にはビスケットとバナナしか食べさせてあげることができませんでした。**術後3日目の雨の降る寒い日の朝に1時間並んだ一時保育の抽選会にも落ち**、病気になるような私が母親になってはいけなかったのだと自分を責め、我が子の行く末を案じては泣く日々を過ごし、とても辛い思いをしました。**病気の親を持つ子供も、働く親を持つ子供と同じように保育を必要としています。行政には、私達のような親を持つ子供達が安心して過ごせる場所を作っていただきたいと切に願います。**	女性	40代	回答なし
この度妊娠中の異動となり、1番入りやすい0歳4月の入園、復帰ができなくなりました。子どもが2歳になるまで育児休暇をとり、今の職場に戻って復帰する予定ですが、果たして中途半端な年齢で保育園に入れるのか、**転入予定の地域へ遠隔で保活ができるのか不安でいっぱいです。働き続けるための保育サービスの充実と例外に対するフォローをお願いしたいです。**	女性	20代	0人

主な意見抜粋【少子化】

意見	性別	年代	子ども
シンプルに産んでみて世の中が子持ちに優しくなさすぎです。私が子供の頃は妊婦に席を譲るのも子供に席を譲るのも当たり前だったし、子供が泣いて肩身がせまいということもありませんでした。**国の方針も老人ばかりに手厚く本気で少子化対策してると思えないことばかりです。まるで今は子持ちはハイリスクノーリターンで罰ゲームみたいです。**私は日本に生まれ育ってよかったと思ったけど、今の状態がすすむと我が子には日本を出なさいと言いたくなります。もう一人産みたいと思える政策をしてください。	女性	30代	1人
有権者に高齢者が多いから、その票を得るために、**高齢者優遇の対策ばかり打ち出している気がする。**	女性	30代	2人
子供を持つことは贅沢であり、自己責任という風潮が感じられる	男性	30代	1人
少子化と言われてもうかなり経つのに、**現状は国は子供にお金をかけないので増える訳がない**です。コロナ騒動もかなり影響していると思います。	女性	30代	2人
子供を産み育てることで求められる苦難と覚悟が可視化され、簡単に結婚や出産をしたがる人間が軽率であるかのような空気を感じられる。**保育士の余裕のなさや手当削減など、暗い情報ばかり拾ってしまい、年齢的にも経済的にも中途半端な自分は、結婚出産しないほうがいいのではないかと感じられる。**	女性	30代	0人
日本の政治家は目先の5年、10年くらいしか見えてない。**もっと20年、30年、もっと長いスパンでの少子化対策をして欲しい。**	女性	30代	2人
今の自民党は児童手当をなくしたり、コロナ禍でも子どもを守らなかったり、少子化を推進しているように思います。	女性	40代	3人
少子化対策のプランをもっと具体的に公開して欲しいです。児童手当を削り、待機児童解消にあてる理解できない政策が行われそうですが、これによる**デメリット、メリット、効果の見込みを専門家に見てもらうべきではないでしょうか。さらに実施後の経過による振り返り、改善等、一般企業におけるPDCAが政府は全くできていないように思えます。**そもそも消**費税増税を待機児童対策にあてるという計画すらまともに実行できずに児童手当削減に手をつける、一般企業ではありえない状態**です。 また話は少し変わりますが、日本の少子化は本当に深刻です。少子化＝国力の低下です。この事実を経団連、財務省、政府はしっかり認識してもらいたいです。	女性	30代	2人
年収1000万程度で子供手当などの優遇がなくなる。**高収入ほど子供を持ちづらい。子供にかかる費用を少なくする施策をもっとふんだんにシンプルに、してほしい。**	男性	30代	3人
結婚適齢期であるはずの世代を放置してきた。時間も金も無いでは結婚など不可能である	男性	40代	0人
子育てしにくい世の中だから少子化も進む。もっと補助を出してもらえるなら産む人も増えると思う。	女性	20代	2人
核家族が多い中で**人口減少が続いてますが今後の国のビジョンを挙げる政治家がいない事**	男性	60代以上	2人
保育園の数が足りないので増やしてほしいが、その財源を"ある一定額の所得者世代の子ども手当"を廃止して得ようとするのは長期的によくないと思う。	女性	30代	0人

主な意見抜粋【児童虐待・社会養護】

意見	性別	年代	子ども
児相は抜本的に刷新して欲しいです。強制収容所の様なやり方や、衣食住さえあればいい的な、将来の生産力としてしか見ていないかの様な扱いはやめてください。生産性ではなく福祉の観点で子どもたちを保護してください。また、児相存続目的による保護などの非人道的な業務に対する透過的監視、及び情報の透過性を担保する様な仕組み作りを期待します。	男性	30代	1人
1番お金人が足りていない。ワンストップで出来るプロが足りていない。18歳以上の独立後のケアが必要。	女性	40代	3人
ニュースで児童虐待のことを見るたびに心を痛めています。詳細を知れば知るほど、本人ではその環境を脱することが到底できなかったこと、学校や児童相談所が関わっても結局親元に返すしかないという現行の状況をみると、学校や児童相談所の関わった方々もどんなに無念だっただろうとつらい気持ちになります。親元に帰りたいと言わされて、そうすると親元に返すしかない今の内容だとまた同じような悲劇が起こりうると思います。たとえば**子どもが駆け込めるところを作る、子どもの絶対的な安全が保証されるまで親元に返さない、など、制度を作るのは本当に大変なことだと思いますが、できるかぎり応援しますので、なんとかやりとげていただきたく、お願い申し上げます。**	女性	30代	0人
結婚する気はないが、子供は育ててみたい。しかし里親や養子縁組への不安がある。もっと一般化してほしい。	女性	30代	0人
子どもが大事と言いながら、**児相の業務は逼迫しています。国が責任を持って費用をかけるべきポイント**だと思います	男性	50代	0人
子育て家庭の親・子どもへの支援が、各政策によってばらばらに行われるのではなく、子どもの権利を基盤とした一体的なもので、子どもと親のエンパワメントにつながるものである必要があります。地域住民も子どもの権利の視点で理解・支援できるようになることも重要です。**また児童虐待は、保育の場・学校・地域で、子ども・親・子どもに対する、子どもの権利に関する教育や暴力への予防教育が必要です。社会的養護においては、対象となる子ども自身の意見も聞きながら環境支援を行えるよう、子どもアドボケイト制度も導入される必要がある**と思います。	女性	40代	1人
私も双子を育てていて、床に叩きつけたり、口を塞いだりしました。幸い事故にも事件にもなりませんでしたが、明日は子供を殺すかもしれないと思いながら子育てしていた時があります。「多胎児を子供に持つ親の93%が子供にネガティブな感情を持った。（参考1）」と新聞にもありました。 **育児をしていて、“今、この瞬間、誰か助けて”と思うことが何度もあります。110番や119番ではないけれど、「緊急事態に誰かが助けに来てくれる。」「電話口で適切に対応してくれる。」「頼りになる。」そんな仕組みがあれば、事故も事件も減るのかな。**と思います。 また、**リスクのある家庭ではプッシュ型で定期的にベビーシッターや保健師が訪問し、フォローしていく。**というのも虐待のリスクを減らせると思います。 なかなか難しいと思いますが、実現すれば不幸な子供は確実に減らせると思います。	女性	30代	2人
児童福祉司ではなく、児童福祉司をサポートする為の職員を採用するようにして欲しい。児童福祉司に任用可能な資格を持っている人だけを増やそうとしてもなかなか良い人材は集まらない。人員確保だけを考えた採用は却って他の職員の仕事や心労が増える場合もある。面接に同席して記録作成する係が作れるよう事務系の採用が出来るとよい	女性	30代	0人
児童養護施設や児童相談センターなどの職員さんが狭き門すぎると思います。大卒、児童心理学専攻、など条件は厳しく、案件に対して人員が少ない、無念しか残らないのはこちらも悔しいです。**働きながら必要な資格を取れる養成システムなどあれば、自分でも希望して働きたい、子供達の助けをしたいと思います。**古いシステムの抜本的改革をしてほしいと思います	女性	30代	4人

主な意見抜粋【子どもの貧困】

意見	性別	年代	子ども
私はDVによる離婚でひとり親で子育てしています。クラス内での貧富の差は、子供が学校生活をおくり、友人関係を築く中で、大きな問題だと感じています。遊びに誘われても、遊びに行けない。**つらい思いをさせたこと何度もあります。**またトラブルがおきると、家に大人の女性が私しかいないことで、私自身も子供も一方的に精神的にも追い詰められたことが何度とあります。**ひとり親に限らず、貧富の差があることで、こどもの人権に差が出ることは、すべての子供の成長において、悪影響だと思います。**	女性	30代	2人
家庭環境は子どもの成長に大きく関与すると思うがなかなか**家庭内のことには踏み込みにくいので行政による支援を厚くしていくべきだと思うから。**	女性	30代	1人
子どもは親を選べません。どのような家庭環境にあっても、**健やかな生活を送れるように貧困状態にある、子どもの権利を守って欲しい。この回答はひとり親家庭への支援とも表裏一体です。**	女性	20代	2人
親が収入が低いのはどうしたらいいのですか？**働きたくても働けない。それで子供はいじめの原因になり無限ループ**です。	女性	20代	1人
子ども食堂などの民間の支援団体頼みの現状を、改善していただきたいです。	女性	20代	0人
貧困が連鎖してしまう。**金持ちは金持ちのまま、貧乏は貧乏のままで格差が広がりすぎ**ており、努力する事すら困難になっている。	女性	30代	2人
子供の責任ではなく、またその解決も子供だけ、家族だけ、学校などの**小規模コミュニティで解決できることではない**ため	女性	30代	1人
お金のある人間しか学力や高所得を得られずその負のループが永遠に続いていく。**もはや個人の努力ではどうにもならないレベル。産まれたときから人生が決まっている。**	女性	30代	2人
子どもの自殺、いじめ、虐待、**様々な不幸の大元には親の経済的な問題がある**と思うから。	女性	60代以上	0人
習い事や塾に通わせたりを躊躇してしまう程度の収入なので家庭の財力によって子供に差が出てしまう。**非課税世帯は何かと優遇されるが中間所得層が一番キツイ事を知って欲しい。**	女性	30代	1人
子供食堂等は一般の方が良心で行うことではなく、行政が子供も守るべきものとして扱うことが必要だと感じるから。	女性	20代	0人
子どもの貧困はもう少し遡って考えると大人の貧困が大元にあると考えています。やはり**子ども、大人、両方の貧困を改善する為にも労働者の過所得分を今よりも更に増やしていく政策が必要ではないでしょうか、**子ども食堂やフードバンク等の民間単位での援助が行われている事例を報道で多く見かけますが、それでは焼け石に水だと考えています。	回答しない	30代	0人
旦那が飲食業で朝早く帰り遅く休みも少ないのに年収は200万円台の低賃金。共働きになれば子どもは孤独になるし専業主婦やパートでは満足な学習環境を整えてあげられない。職種による給与の低さをどうにもできないなら**低収入世帯の児童手当の額を増やすか会社に子ども手当てを義務付けるか貧困による育ちの格差をどうにかしてほしい。**	女性	20代	2人

主な意見抜粋【いじめ】

意見	性別	年代	子ども
いじめで命を落とす子どもが増えています。**子ども達への人権教育が出来ていないのが原因だと思います。**又、ことなかれ主義で見て見ぬ振りをする大人達も問題があります。	女性	50代	0人
子どもでなく学校としてのメンツが優先されているから。それにいじめといえば聞こえは良いが学校外なら犯罪だから。	男性	20代	0人
いじめは心の問題なので無くなりはしないだろうけど、不登校になった子の支援がもっとあってもいいと思う。不登校の子どもに対しての取り組みが少なすぎる。	女性	30代	2人
いじめられた被害者が教室から離れる、いじめた側がその場にい続ける事に違和感しか感じない。また別の子供がいじめられるだけ。犯罪行為なのでちゃんと指導しなくてはいけないと思う。	女性	30代	3人
今はいじめられた子供が転校する形が一般的だが、いじめた方がどう考えても悪いのでそちらを転校させるべき。そして**いじめた子供にはカウンセリングを受けさせるべき。**	回答しない	30代	2人
いじめは犯罪であるという認識を教育現場で徹底して持つべき。いじめが隠されてしまう実態を鑑みるに、いじめの発生が学校の立場を悪くする状況にあると思う。**いじめ問題を解決（とまではいかなくても、どんなケアをしたか）の成功例を共有していくなど、いじめ問題に関わることが学校にとってプラスになるような仕組みが必要なのではないか。子の心を守ることが第一だが、それが学校に依ってはないがしろにされている現実から、人ではなく組織の在り方や仕組みに問題があるのではないか。**	回答しない	30代	1人
いじめはメンタルヘルスや自殺に大きく関わるものであるため、**隠ぺい体質を改善し刑事事件として扱うなど警察の介入を積極的にすべきだと考える。**	女性	30代	0人
一旦被害者から引き離し、加害家庭をフォローをしてほしい。被害者が不登校や転校するのはおかしいし、加害家庭に介入しないとターゲットがかわるだけだから。	女性	30代	2人
学校に警察介入したほうがいいと思う。**教師だけでは揉み消しが堂々と行われる。ネットが普及したことにより、悪口やいじめがエスカレートしている。最近の子供は陰湿です。**	女性	30代	0人
いじめなど曖昧な言葉ではなく暴行罪や犯罪名で加害者自覚をもたせてほしい。海外では加害者のメンタルケアをするそうです。被害者も悪いような風潮が許せません。	女性	20代	2人
人を信じられなくなり、本音を隠すことが上手になり、**それを一生引き摺って辛い思いをして生きていくことになるから**	女性	30代	0人
学校外に「いじめ」の事実が露見しにくく、また本来であれば暴力や窃盗であるはずのことが「いじめ」として、加害者の罪意識が薄いのではないかと考えるから。	女性	30代	0人
学校だけで片付けるのは無理だから。**警察沙汰にしなければ悲しいことにいじめる方は問題意識を持てない家庭事情の子もいる。**	女性	30代	1人

主な意見抜粋【ひとり親】

意見	性別	年代	子供
夫も親族もいないひとり親の子育てで死にそうです。また、ひとり親でも子育てができる社会は、誰にとっても子育てのしやすい社会だと思います。	女性	40代	1人
コロナの影響で、長期の仕事で雇って貰えず、臨時のアルバイトしかなく、子供が高校に進学なのに、進学費用や、制服などを買ってあげたり、支払いが難しい。	女性	40代	3人
ひとり親の児童扶養手当ですが年収限度額が低すぎる。手取り年収220万しないのに児童扶養手当廃止になりました。	女性	30代	1人
多くのひとり親家庭で、**子どもが心、経済的貧困を強いられている**ため。また、関連することですが、肥満などの生活習慣病に罹患傾向しやすいこともあげられます。	男性	40代	2人
養育費算定表の金額の低さ、養育費不払いの放置、家庭裁判所の面会交流強制の運用（間接強制）などの問題が放置されていることを至急解決してほしい	女性	30代	2人
各家庭様々な理由でひとり親になってしまった家庭のサポートも大事だと思う。また、**父親のひとり親の年収も関係あるだろうが、母親側と同じぐらい手厚いサポートをしてあげてほしい。**	女性	30代	2人
仮に離婚してひとり親になった場合、**相手からきちんと養育費が取れるよう追跡できるシステムにしてほしい。**養育費の徴収が難しい場合は差し押さえなどもできると良い。	女性	20代	0人
自分も現に**シングルファーザーとして子育てしている**が、なかなか仕事しながら一生懸命子育てしていると、ひとり親支援があるのは知っているが、**どう支援してくれるのか分かりづらいし、時間的に精神的になかなか調べて申請する余裕もない。実際窓口には数回行ってみたが親と同居していると親の年収がとかいくら以上稼いでるからとかで、挫折する。結局、生活保護と一緒で働いてない仕事してないってはっきりしてないと支援はしてもらえない。シングルファーザーだと男だからとか、男としてのプライドみたいなのもあって申請するのにもすごい勇気がいること。**相談できる人もいないから制度についてまずは自分で調べるしかない。おそらくそう言った理由で**受けることができるサポートも色々あっても諦めて苦しい生活して子どもにも負担かけてしまってる家庭は多いのではないかと思う。**	男性	30代	2人
本来人間は、父母、男女で子どもを育てるのが基本。**ひとり親子育ての問題は全社会で対応が急務**である。	男性	60代以上	2人
自分がひとり親でフルタイムで働いている。もっと子供と過ごす時間が欲しいけれど、経済的に無理。義務教育とはいえお金はかかります。そして習い事なども他の子達同様させたいので。	女性	40代	3人
少子化を食い止めるにはひとり親の支援も欠かせないかと思います。**結婚が必ずしも幸せな家庭を築けるとは限りません。ひとり親は今後も増えるかと思いますので、支援が必要かと思います。**	女性	20代	0人
私は子供2人をもつひとり親ですが、フルタイム正社員で働きたいですが無理です。なぜなら、そんな環境がありません。**こども園に入っても新2号認定しか受けられない。子供の送り迎え、病気になれば何日も休む、早退。フルタイムで働けるよう、会社側の意識改革と行政のサポートがほしいです。**シングルマザーが正社員で働けるようにならないと、貧困はなくなりません。	女性	40代	2人

主な意見抜粋【その他】

- 【その他】の主な意見
  ①「結婚・出産・子育てに関する金銭的な不安」、②「性教育の充実」、③「育休取得促進、マタハラ対策等出産・子育てがしやすい社会環境の整備」、④「離婚後の共同親権、面会交流等の法整備」、⑤「政治、行政の子どもにかける予算等」、⑥「同姓パートナーの里親等の要件緩和」

意見	性別	年代	子ども
そもそも、**親となる若い世代の給与が少なすぎます。私は40代で手取りが12万円です。ある資格を取り正社員であっても です。ここから一人子供を育てることは無理です。**自分や自分の親でさえ支えきれません。	女性	40代	0人
マタハラ対策が必要。**産休育休の肩身の狭さにより正社員で子供を産むことにためらいがある。**	女性	20代	0人
男性も女性も性教育が足りていないと思う。ぼんやりしたよくわからない説明ではなく自身や相手の体のことをよく理解することで望まない妊娠の問題やワンオペ育児の問題、社会の妊婦や子どもへの不寛容が改善されるのではないかと思う。	女性	30代	2人
子育て全般 子供を産む体制よりも育てる体制が整っていない気がするから。共働きなど、先を考えればあまり子供を産む気にはなれない。	女性	10代	0人
中間層には学費などで何の免除もなく負担が重い	男性	50代	3人
先日、**児童手当に所得制限を設けられたかと思います。**私はこの時、**この国は子どもたちや、日本の将来を放棄したと思いました。**子どもたちは日本の宝です。未来です。そこにお金にかけず、高齢者たちを優遇しすぎではないですか？失礼ですが、高齢者の方々の先は短いです。**未来ある子どもたちにお金を回して、ひいては未来の日本をつくる政策を求めます。**	女性	30代	2人
同性パートナーの認知に子育ての観点からも取り組んでほしい。同性パートナーによる里親の推進、人工授精を医療機関で受けられるようにする等。親となれる人材が増えるのは少子化対策にもなるはず。	女性	20代	0人
離婚後の親権問題により、日本では多くの親に会いたくても会えない子や、子に会いたくても会えない親、孫に会いたくても会えない祖父母がおります。これは日本の人権問題であり、子供の権利条約が無視される温床になっていると考えます。	男性	30代	2人
夫婦共働が当たり前、という世の中で**家事や育児などの両立が正直できる気がせず、幼少期に子供の近くにいれないことが愛情不足につながりそうで怖いです**	女性	20代	0人
結婚妊娠出産育児により職を追われる女性が未だに多すぎます。男性の育休取得率の低さが異常です。	女性	30代	2人
現在妊娠中：とにかくお金が心配で何度も子供を降ろそうか考えたし、毎回検診や出産費用や養育費用の計算でものすごく気持ちが落ちる。世帯年収は平均以上の家庭であるにもかかわらずこのように感じる。2人目は絶対に出来ないように気をつける。	女性	30代	1人
性教育が幼児期から高等教育にかけて不十分なこと、にもかかわらず妊娠したら退学させる等の対応を行なっていること	女性	20代	1人

主な意見抜粋【医療】

意見	性別	年代	子ども
私が住んでいる市では、子ども医療は小学２年まで使えないので。他の自治体は中学生とかでも使えるというので、**全国一律にしていただきたいです。**	女性	30代	2人
現在一**定の収入を超えると乳幼児等こども医療費助成費制度も無くなるが本来親の収入に関わらずこどもに関わるものは平等であるべきだと思います。**	女性	20代	1人
マイナンバーによるワクチン接種の申込・記録の一元化：現行のシステムは市町村ごとに異なるフォームを用いており、とても効率が悪いと感じます。また、**母子手帳のみに記録が残っているのは、もしもの時に参照できない可能性もあるため、電子的にも記録してもらいたい**です。ワクチンのお知らせや申込みももっとわかりやすくしてほしいです。	女性	30代	2人
妊娠7ヶ月の妊婦です。今回が**初産**になります。目先のことになりますが、**出産において、妊婦検診費の自費負担分や分娩費用を合わせると約70万、無痛分娩を選択しようとすると合計80万円以上かかります。**出産一時金を差し引いても出産だけで約40万円かかり、待望の妊娠とはいえ、家計としては打撃を受けています。私(妻)がつわりがひどく、コロナの情勢下もあり、妊娠を機に会社を辞めているので、現状夫の収入のみになります。**二人目も考えているのですが、やはりお金のことが頭を悩ませて迷ってしまいます。**少子化対策のためにも、**せめて妊娠に関わる医療費、および出産における費用は負担がゼロに近くなるように、出産一時金などを増額してほしい、**という思いから、医療が子育て行政には必要かと考えます。	女性	30代	０人
妊娠から出産まで医療なくしては成り立たない。**検診費用も保険適用してほしい**	女性	30代	0人
私は神奈川県で小児科医をしておりますが、こちらに引っ越してきて神奈川県の乳児医療補助の貧弱さにびっくりしております。以前は岡山にいましたが、所得に関係なく入院費用は無料、また外来通院費用も1割程度なのが一般的でした。神奈川県では多くの自治体で1歳を超えると所得制限がかかり、自己負担が大きくなります。そのため、**分子標的薬など高価ではあるが患児の生活の質(QoL)を大きく上げる薬剤の使用を諦める方がいらっしゃいます。**より多く税金を納める世帯が必要な医療を受けれないのは是正されるべきで、**乳幼児・学童の医療費に関しては自治体ごとに差が出ないよう、国が責任を持って行うべき部分だと思っております。**	男性	30代	2人
妊娠・出産に関わる費用はなぜ、いつまで、保険適用外のままなのでしょうか。**確かに「妊娠は病気ではありません」が、現代において医療の関わらない出産はほとんどありません。**	女性	30代	2人
小児科が少なくて先生と合わなくても変えれない。産婦人科がなくて隣の市に行かないと診て貰えない。	女性	40代	1人
夜間の救急相談窓口は待ち時間が長い。また昼間は自己判断になるので病院で「なんで来たの？」と言われる事もある。**時間問わずそういった相談窓口が欲しい(軽い程度の症状でも答えてくれるような)**	女性	30代	1人
妊婦の検診等が自費であることは、少子化を助長していると思う。**一時金の引き上げの話も出ているようだが、帝王切開であったり入院が長引いたりすると、賄いきれない。**	女性	30代	1人
妊婦に対する医療費の高さや無痛分娩に対する理解のなさ。また、妊活への補助のなさ。**これだけ国から見放されているので少子化になって当然だと思う。**	女性	20代	0人

主な意見抜粋【障がい児支援】

意見	性別	年代	子ども
障がい児を受け入れてくれる場所が少ないのと、軽度だから受け入れて貰えないなど、**障害の等級によって扱いが変わってしまう。縦割り行政なので、教育関係も医療関係などたらい回しになって、欲しい回答が得られない。**	女性	30代	4人以上
障害児だけでなく、**グレーゾーンの子への乳幼児時代からの気軽に相談できる相談窓口や、専門家を各小中高等学校に配置、などしてほしい。**グレーゾーンの子への支援が足りないと感じる。	女性	20代	0人
基本家でみるのが当たり前、という前提を変えてほしい。**障害児の支援の仕事をしているが、重度障害児は家でみるのは困難。その結果、家庭がメチャクチャになる例を何度となく見てきている。障害児も含めて子供は国の宝。**	女性	40代	2人
サポートが手薄なため、子の介護の為離職→貧困のパターンになってしまう。子を預けられる、安価にサポートが受けられる事で経済的にも精神的にも安定して子に接する事ができる。障害児を産んだら人生終わり、では悲しい。	女性	30代	2人
娘が障害児です。制度や給付金の設定に無駄が多く、意味がないものが多いと感じる為。	男性	30代	3人
なかなかその障がいに該当しなかったり限りないグレーの子の対応が難しい	女性	50代	1人
発達障害疑いの子供を育てています。児童館では周りの迷惑になるので行けず、初診待ちの今一年と少し暗闇の中で育児をしている状況です。初診待ちの子供が自費で通えるような遊び場や自宅保育でのフォローをしてほしいです。毎日生きるのが辛いので助けてほしいです。	女性	20代	2人
ハンディのある子供だけを集めて教育するのではなく社会と同様に**普通クラスで一緒に過ごす事でハンディのある子供達の社会性を育て多くの子供達には人々の多様性を理解し助け方、関わり方を学んで欲しいと思う。**	女性	40代	1人
子供が都立の特別支援学校に行っている医療的ケア児です。文科省の管轄の教員と、厚労省の管轄の看護師が学校内にいるが連携が取れていないので、保護者が大変です。	女性	40代	1人
成人した障害者より、障害児のほうが養育費などかかるように思うのに大人にばかりお金が入っているように感じた為。(成人したら障害手当てを減らせばいいかといえばそういう事ではないです)	女性	20代	0人
人生の方向性が決まった後、**歳を取ってから発達障害に気づくのでは遅いことも多々ある**ので。本人の特性を理解した上で人生設計できるようなサポートが重要だと考えられる。	男性	20代	0人
情報が少なく親の行動次第で支援を受けられなかったり地域差がある。	女性	30代	1人
親子関係を踏まえた早期支援が不足していると感じる。**母親がものすごく頑張らないといけない仕組みは子の健やかな育ちを阻害する。専門知識と技能を備える支援員を養成し、障害児保育などもでき母親が仕事を辞めなくてすむ社会を作るべきと考える。**	回答しない	30代	1人
障害児が産まれると仕事をやめて対応せざるを得ないというイメージがあり、出産をためらう理由のひとつになっていると思います。障害と向き合いながらも前向きに子育てできるような支援があればもう少し多くの人が出産に踏み切れるのではないでしょうか。	女性	30代	1人

主な意見抜粋【教育（幼児期に関すること）】

意見	性別	年代	子ども
子供への教育では無く、**親への教育がほしいです。**親になるための教育は必要だと思います。子育ての知識は沢山広まっていますが必須の情報とケースバイケースの情報、間違った情報が混在しているため取捨選択が大変です。	男性	20代	1人
お金のある方、ギリギリな方の幼児期の教育に差があってはならないと。その子が親になった時に自分が幼児期に教育が不十分だからこの子にはと、何パーセントの親が思うのか。	男性	50代	2人
最初の人格が育つ大切な時期。これからの時代は、今までの常識が常識でなくなる時代。**みんな一緒に！も日本らしくていいが個性を大切にした教育転換に期待している。**	女性	30代	4人以上
保育園と幼稚園で幼児教育に差がありすぎると感じています。それぞれ良いところがあるのは重々承知していますが、幼児教育に限っていえば、親が働いていて忙しくて幼稚園にいれられず保育園に預けるという状況の保育園のほうが幼児教育は家庭任せのように感じています。数年前に子ども園ができましたが、そこに入ることができるのはほんの一部。**幼児教育をしたくてもできない家庭が多く、また、保育園は幼児教育ができていないという偏見も多いと感じています。**	女性	30代	2人
幼保一元化、保育士の社会的地位向上等の問題が山積している一方、**幼児期の教育はコストパフォーマンスがよく、政府が力を入れるべき点であると認識しているため。**	女性	30代	2人
プレ幼稚園などの情報が収集しづらい。行政のホームページは見づらい。情報の更新をしていない。	女性	30代	2人
人間が人間として育つために、親も子どももとても大切な時期。親のスタンスがどうあるべきか、社会とどう関わっていくか、など親も知っておくべき事は沢山あるので**幼児期を一緒に育つ親へのサポートと教育は必須**	女性	40代	1人
保育園、幼稚園、認定こども園と、幼児期に子の在籍する組織による教育の差や方針の違いと、それによる小学校進学時のギャップの差を懸念しているため。方針などの統一をしてほしい。	女性	20代	1人
現代社会において英語や、学習塾、プログラミング塾など**塾で勉強するのが当たり前になり過ぎている**と感じます。**一つでもいいので手当などで助けてもらえたらと思います**	女性	20代	1人
そもそもどういう教育をしたら良いかわからない。家庭それぞれと言うけど、幼稚園に入る前にも何か政府からの支援と手掛かりがほしい	女性	30代	1人
幼稚園教諭時代、たった一人で3歳～5歳の子どもたちと向き合い、一人一人にきめ細やかな教育目標を立て配慮すると言うことの難しさを感じた。共働き世帯が多い今、保幼に求められることも多くなり保育士、幼稚園教諭の負担も大きい。私が預ける側として考えた時、少しでも先生方の負担軽減や働きに見合った給与など見直してもらって。余裕を持って保育してもらえる環境だとありがたいと思う。	女性	30代	0人
幼稚園に入るまでの3年～3年11ヶ月を保護者に丸投げするには**親の知識が足りなさすぎる。健診以外でも公的な物で定期的に親に正しい子育てに関する知識を与える場が必要だと思います**	女性	20代	2人
フルタイムで幼稚園に通わせるハードルが高い	女性	30代	1人

主な意見抜粋【行政組織全般】

意見	性別	年代	子ども
私の住んでいる市ではとってもくだらないイベントみたいなものに助成金が出るケースをよく見かける。市の子育て担当部署とズブズブだから。経営目線で見てありえない(発展性継続性)の無いものに税金が使われるのはおかしいと思う。**助成金の使い方をもっと考えるべきだと思う。**本当に補助すべきところに届いていない	女性	40代	3人
行政の支援は基本的に申請しないと受けられない仕組みだが、子ども関係に関しては改めた方が良いと思う(月並みだが、子どもの責任では無いため)	男性	20代	0人
子育て世帯に必要なものを、把握してないので少子化は進む。票ほしさに高齢者の待遇ばかりに予算をあてていたら、いつまでたっても、日本は活性化しないし、不可能だ。	女性	30代	3人
縦割りで非効率な手続きが多い。いまだに窓口に行かないとできない、紙の書類を揃えないといけない、など面倒なことが多い。自治体によって書式もバラバラなので整えることで関係者全員が楽になると思うので、民間企業の視点を入れるなどして改善してほしい。	女性	30代	1人
担当部署が錯綜しており、**どこの窓口に相談したら良いのか判りにくい。**また、対応も遅い。	女性	30代	1人
みんな助けて貰い方がわからないんだと思う、あと行政の手が回らないって聞くので	女性	30代	1人
手帳の発行、**これは長野県、これは長野市など手続きがバラバラ**で大変	女性	30代	2人
連携が必要なことが多いが、できていない。（広義には**隣の自治体との変な競争も止めて欲しい、医療無料化が10歳まで云々**）	男性	40代	2人
横のつながりがないため、相談した内容も関係機関に伝わっておらず何度も同じことを言わないといけない。またいろんな場所にたらいまわしにもされる。子供のために命を優先するなら縦の関係ではなく横のネットワークを作りすばやく連携してチームとして対応するべきです。	女性	40代	4人以上
政治家含め「子育ては女性の仕事」と考えている人が多いように思う。母親へのサポートも大事だが、子育て世代の男性、その上司など、社会全体で子育てをしていける世の中になってほしい。	女性	30代	2人
やっている政策が的外れな事が多い。今そこ？何故それ？ばかり…	女性	20代	1人
どんな政策にせよ、とにかく現場の声を最優先に聞いてほしい。今政策を議論し、決定している人のうち子育てに関わった人がどれだけいるのか。おそらくほとんどいないと思う。自分がやっていない知らないものを議論しても机上の空論で、だから現場無視の頓珍漢な政策やルールが出来上がる。どんどん現場の人間を入れるべきである。	女性	30代	0人

主な意見抜粋【産後ケア】

意見	性別	年代	子ども
相談先として、**簡単なことから重たいことまで相談に乗ってくれる方がいると嬉しい**と思います。**実際自治体の無料月次身体測定の場に保健師さんがいらっしゃり心強かったです**	女性	30代	1人
産後眠れ無さすぎて頭がおかしくなりそうだった。**近くに産後ケア施設が安価で使えれば行くのにと強く感じました。**	女性	30代	1人
産後、体調を壊しやすくなり寝込む場面が増えた。夫に頼りきりになり、負担が増えた。**家事代行、シッターと分けずに包括的にサポートする体制が欲しかった。**	女性	30代	2人
母親が一人で子供の面倒を見ることが多い中、**自治体の産後ヘルプ事業が非常に使いにくいため、行政として質の標準化を図ってほしい**	男性	30代	1人
結婚を機に地元離れなければならなくなり出産に挑むも両親は働き世代(管理職世代)の為頼れず孤立しがち、**パートナーの支えが必要不可欠であると父親学級の義務化をし"家族の協力体制"が必要な事を理解してもらいたい。**	女性	20代	1人
現状のケアが助産師や役所の人間が訪問や電話にて不安がないか確認してるだけで何も役に立っていない。新生児を一時的に預かれる施設など親がリフレッシュできる取り組みを期待する	男性	30代	2人
男性の育児休暇も話題に上がるが、強制的に男性に育児休暇を付与すれば産後のケアになるかと言えば逆にお母さんの負担が増えると思われるケースも散見する。**望む人に産後のサポートの充実(プロの介入)をしてほしい**	女性	30代	1人
お互いの実家に頼れない中、国家公務員である夫は育児休暇を希望していましたが、希望した時期、日程に取得できず、また産後1ヶ月の間はほぼ終電かタクシー帰りで辛かった。せめて夫の育児休暇が取れたらよかった。	女性	30代	1人
産後周りに頼るところがなく、夫も仕事が忙しいときに**乳腺炎になり倒れたときに地域の助産師さんの数が少なくすぐにみてもらえませんでした。忙しい、とつっぱねられました。産後もっと気軽に頼れる助産師制度が欲しいです。**みんながみんな近くに親族がいるわけではありません。	女性	30代	2人
自治体によりますが、**双子を産んだのに産後ケアを受けることを実際に断られました。近くに義両親が住んでいるためだそうです。産後うつになりかけました。**	女性	30代	2人
産後院が必要。里帰り出産出来なかった場合、そして旦那が激務の場合、本当に辛い。寝不足と疲労で母乳は全く出なかった。	女性	30代	1人
子どもを産むまでは病院等とのつながりがあって相談することも気軽に出来たが、**産後は新生児訪問が終わると行政等周りとの関わりはほとんどない。そして窓口がわからなくて相談する場所もわかりづらい。**	女性	20代	1人
産後一ヶ月間の静養は人によっては無理がある。**夫のサポートも育休をしっかり取れれば良いが制度も会社側の意識もゼロに近い。**人によって違うと思うが保険適用で入院することも選択肢に入れられるようにしてもらいたい。	男性	30代	1人
家事代行やベビーシッターにも通じるが、**産後うつ期の親をどこまで支えられる制度があるのかわからない。あるとしても認知度が低すぎて意味がないと思う**	男性	20代	1人

主な意見抜粋【不妊治療・不育治療】

意見	性別	年代	子ども
自分も不妊治療していた時期がありました。私は幸いにも早い段階で授かることが出来ましたが、**2人目は絶対体外受精ということもあり金額面で諦めようかと思ってしまう**ことがあります。	女性	30代	1人
28歳から4年不妊治療を行った結果第一子を授かることができたが、**二十代共働きでも総額三百万近い出費は辛かった**から。	女性	30代	1人
私は不育症で子供を2人流産しました。不育症の検査をするだけでも9万円近くしました。不育症の専門医も少なく遠方まで通う必要があり大変です。コロナ禍では、次の子はもう無理と思う理由の一つです。支援をお願いします。	女性	30代	2人
晩婚・高齢出産が増えている。不妊治療は女性の定期的な(病院に指定された)通院が必要で、働きながら治療するのは困難。治療費助成だけでなく、**会社側にも休みやすい制度がほしい。**	女性	30代	1人
料金が高額すぎ、情報がない。精神サポートもなく孤独に手探り。周りからの理解を得にくく、仕事との両立も厳しく退職。不妊治療の病院もありすぎ、皆違う事を言い、何を信じれば良いのか分からない。転院を繰り返し、納得のいく病院に出逢うまでには、400万円以上の出費。培養士・医師（病院）を育て不当な病院を作らせないようにして欲しい。また、病院で差が出るという現状も無くして欲しい。保険適応が導入され、医療の質が落ちないようにして欲しい。採卵1回で80万もする今の病院では、助成金が少なすぎる。男性不妊は病気ではないのか。所得制限まで作ってひどすぎる。	女性	30代	0人
不妊治療もではあるが、逆に現在は**妊娠したくない・妊娠する必要が無いと考えている女性に対するケアや治療体制が整っていない**ように思えます。	女性	20代	0人
少子化が問題になっているなかで、子どもが欲しくても授かれない人達がおこなう治療に保険が適用されず、子どもを授かる機会を奪ってしまっているのはどうかと思うから	女性	20代	1人
出生率の増加が大事なのに、**不妊不育治療へのハードル（時間、体力の負担、世間イメージ、保険外治療費）が高く踏み切れない**、諦める原因となる	女性	30代	0人
若い頃の精子・卵子をより簡単な手続きで保存できることができれば、タイムリミットになった後も子をなすことができるのにと思います。	女性	40代	0人
子供を持ちたくても、**なかなかできない人が感じる窮屈さと、かかる費用による負担を少しでも減らしたい。**不妊治療に対するハードルが下がれば、少子高齢化問題も少しは解決するのではと考えている。	女性	20代	0人
義務教育で不妊治療の費用や精神的負担、妊娠適齢期などの性教育を徹底してほしい。自分の子供には同じ経験をさせたくないから。	女性	30代	1人
不妊治療も経験しているためもっと不妊治療にかかる金額を支援してもらいたい。また働きながら不妊治療するのはとても大変です。**不妊治療のための特別休暇などを会社に申請できるようにしてもらいたい。**	女性	20代	0人
高学歴化が進み、育児環境を整えるまで時間がかかるようになっている。少子化対策を本気で行うなら不妊治療に対する援助は必要。保険の適用を進めて欲しい。	女性	20代	0人

主な意見抜粋【子どもの自殺】

意見	性別	年代	子ども
自分が自殺を考えた事があるから。卒業後実行し運悪く生き残りました。	女性	30代	0人
これを解決するには様々な問題を解決していかなければならない。子どもたちに誇りを感じる教育。親の子育て教育・環境。学校の在り方等	男性	40代	2人
子どもの自殺は衝動的なものよりも**実行する前に何らかのサインがあるように思う。そういった機微を発見できるシステム、学校にカウンセラーがいるなどを作って欲しい。**子どもの死はとにかく悲しいから。	女性	30代	1人
スクールカウンセラーの常駐化、ゲートキーパー養成を積極的に行ってほしい。	男性	50代	4人以上
メンタルヘルスリテラシーの低さが日本の大きな課題と考えます。	男性	30代	1人
大人以上に、子どもには逃げ道がない。学校教育からこぼれ落ちた子どもたちを掬いあげる制度もきちんと機能していない印象を受ける。まだ視野が広がる途上である彼らが、あと10年でも生き延びていれば楽になれたかもしれない悩みなどで、これしかないと信じ込み生命を絶ってしまうのが本当に心苦しい。	女性	20代	0人
自殺に追い込むほどの圧力が何なのか調べて、社会に周知徹底してほしい	女性	40代	2人
コロナ禍で子供は我慢させられていることが多いのに、大人は自由にしているのをテレビ等で見たら馬鹿らしくなってしまう。	女性	20代	0人
学校生活や部活で教師、監督などによる暴力や暴言、性的暴行で自殺する子供が絶えないのに**厳罰が減給のみなどで緩すぎる**のはおかしい	回答しない	40代	0人
問題を「自殺願望」に括るのではなく、家族や教師が問題ゆえに他人に話せない問題や、**どこの誰に相談して良いのか分からない問題に対しての『相談窓口』を未成年に増やしてあげたい。**	回答しない	40代	0人
子どもの自殺ほど痛ましいことはない。それなのに行政・学校・親は責任の所在をなすりつけ合っている。減らせるものであれば1人でも減らしたい。	女性	20代	0人
コロナ禍の影響で、子どもの心が弱っている。他者と関わり合い、**自己有用感や自己肯定感を高められる機会を設けるべき**	女性	20代	0人
こどものSOSを届けるような環境がない。親にも先生にも相談できないケースが多い。ななめの関係でかかわってくれる大人が必要。SNSなど気軽に使える分トラブルになった後の対処ができない。そういうことも教育の中で教える必要があるのではないでしょうか。	女性	40代	4人以上

主な意見抜粋【DV・婦人保護施設）】

意見	性別	年代	子ども
ソーシャルワーカーとして今年度抱えた案件のほとんどがDV、虐待です。子育て家庭においてはDVがあれば当然虐待はあるという前提です。ですが、行政も児相も通報や逃げる意思のない（持てない）方はほぼ関与されない状況です。行政としての難しさはわかるのですが、**民間にはない権限があるのが行政です。民間の支援者との協働という点をもっとも必要としているのはこの分野だと私は思います。**	女性	20代	2人
自分自身の経験からも、周囲の同じような境遇の女性の多さからももっと支援の必要な、そしてジェンダー教育も必要な重要な課題だと認識しています。問題解決の難しさがあり、政府では仕切れないことが多くあり、**心理士や弁護士を含む専門家グループによる民間での支援に十分な支援や援助、補償が必要だと思います。**	女性	40代	1人
警察に相談しても、児童相談所にたらい回しになるだけで、DVをしている人の口が上手い嘘に騙されて、正しい判断をされない。ルールだけで動いていて、本当に親身になってくれる人はいないと感じた実体験があるから。	女性	30代	2人
今私は子供と2人で旦那から逃げて生活していますが、ひとり親のような助成が無いので生活は火の車です。何故ひとり親のように助けてもらうことはできないのでしょうか。	女性	30代	1人
子育てに協力するどころか、DVをするパートナーから逃げられない女性もいる。そのような人達に**分かりやすい逃げ場を作ったら良いと思います**	女性	40代	1人
苦痛を抱えていても、専業主婦等の理由で社会との繋がりが薄く孤立してしまう女性は少なくないように感じるため。	女性	20代	0人
婦人保護施設があることすら知らない人が多い。学校教育でしっかり教えてほしい。DVからの逃げ方も教えてほしい。	女性	30代	0人
親が父母両方いても子育ては母親のワンオペになる場合が多いことに加えて共働きの場合、子育て＋父親と同程度の収入を求められる場合が多い、**同程度の収入がないことを理由に発言を許さないDVがあるため。**	女性	20代	0人
子育てにおける家庭内のコミニケーションや分担など、**自助グループを形成できる手助けが必要と感じる。**	女性	30代	0人
手続きの複雑さや恥ずかしさから黙ってDVに耐えている女性が多いので、もっと利用しやすくなると良いと思っています。	回答しない	40代	0人
自身や母が父から受けていることがDV(モラルハラスメント)だとわからず、どの家庭にもあるもので我慢しなければならないものと思い苦しんだ。**モラハラだとわかってから市の婦人相談窓口のようなところに電話したが対面相談は3ヶ月待ちだと言われた。**私は死のうかと迷ってそこに電話したが、3ヶ月待たされるくらい市内に大変な状況の人がいると知り、笑えてしまったので助かった。でも、**3ヶ月も待たされたらその間に自殺してしまえるな、と思った。**	女性	10代	0人
私自身が夫のDVに苦しんでいるから。外に助けを求めることの難しさを感じた。被害者だけでなく、加害者へのケアも充実させなければDVは減らないのではと思う。	女性	20代	1人

主な意見抜粋【ひきこもり】

意見	性別	年代	子ども
今の義務教育のあり方が皆同じを目指していて、窮屈だから。そこにも(引きこもりや不登校にも）目を向けて芽を摘まないべき。	女性	40代	3人
引きこもり=社会的弱者のようなレッテルに苦しむ必要はないと思う。ソフトバンクのサイバー大学など**学校に行かなくても卒業できる仕組みについて認識が増えても良いと感じたため**	男性	20代	0人
一部の熱心な役所や民間のNPOが頑張っているが、全く足りてない。中には引きこもり改善をうたい親から大金を巻き上げる悪徳ビジネスも未だ問題に Eテレハートネットの引きこもり特集などていねいに取材されているので見てほしい。取材はされても取り組む人、組織が足りなすぎる	女性	30代	0人
引きこもりの人（学生）に通信教育と在宅ワーク組み合わせたものを勧めてみてはどうか。自宅で働きながら学ぶ環境を作れば人に必要とされると思って社会に参加する人も増えるのではないか	回答しない	30代	0人
社会が子供に求める欲求水準の高さにより、子供が疎外され、ひきこもりに追いやられている。**子供に規律よりも自由を与え、大目にみる社会を目指してほしい。**	回答しない	40代	1人
8050問題が深刻です。今後の世代にひきこもりを増やさないために、若い労働力を失わないためにも、対処が必要だと感じます。	女性	30代	1人
私大に勤務しているが、発達障がい等で悩む学生数が年々増えている。能力がある学生も多く、どうやって社会につなげていくか、教職一丸で頑張っているため。進学しても、ひきこもり傾向のある学生も散見されるようになってきた。**縦割りではなく、こうした若者を包括的に支援していきたい。**	男性	60代以上	1人
子供がひきこもり･不登校になったとき、学校も社会福祉協議会も病院も児童相談所も助けにならなかった。	女性	40代	3人
私自身が今ひきこもり（30代だけど）。私のように手遅れになる前に家から出られるようになってほしい。	女性	30代	0人
ひきこもりを家庭、血縁内で抱えることが多く、介護離職やヤングケアラーへの対応が必要なため。	女性	20代	0人
1つ目の回答のように、**障害×病気のために、休学し引きこもる毎日を過ごしました。**母も祖母も変な気を起こすのではないか、どう接したらいいかと腫れ物に触るような姿は思い出すだけで悲しく、**母達にプッシュ型のひきこもり家庭支援や情報提供があればと感じました。**	男性	20代	0人
娘が小学校から中学まで引きこもりでした。現在は定時制に通い出し軌道修正しましたが、定時制のクラスメートはほとんどの子がもともと引きこもりだったそうです。**心の病、体の病、貧困な家庭の子、皆んなが平等にサポートが受けられる環境が必要だと日々色々な場面で感じます。**	女性	50代	3人
学校や社会からドロップアウトしてしまった子供達を家庭だけに任せきりにするのではなく、**学校とはまた違った学びの場を公的に運営して欲しい。民間のフリースクールには無いアプローチがきっと出来ると思う。**	女性	40代	1人

主な意見抜粋【ベビーシッター】

意見	性別	年代	子ども
マッチングするまで時間がかかるイメージ。**使うまでのハードルが高いのでお試しができるといい。多胎家庭には必須だが、敷居がたかく未だ使えていない。**	女性	20代	2人
ちょっと疲れてるから子どもを預けられる、**息抜きのために子どもを預けられる仕組みを作って、子育ての負担を軽くすることが少子化対策にもなると思う。**預け先の選択肢として、ベビーシッターも考えられるが、現状はベビーシッターの資質を保証するものがなく、保護者個人に責任を持たされている状態。子どもに関わる職業であるので、国が責任を持って人物に問題がないか審査する仕組みが必要。シッターだけでなく、教員、保育士、幼稚園教諭などにも必要だと思う。**国が審査する仕組みを作り、問題のあるシッターを排除する仕組みも同時に構築し、それでも何かトラブルがあった場合に相談する先の整備、補償する仕組みも同時に構築する必要があると思う。**	女性	40代	2人
田舎だとほぼないに等しい	女性	20代	2人
ベビーシッターを保育園のような認可制にして、**行政から保育に難のある家庭に認可ベビーシッターを派遣する仕組みがあっても良いのかなと。**	男性	30代	1人
子どもを預けたい、**1人になりたいと思ったときに、すぐに利用できるサービスがない。自治体の一時預かりは事前登録が必要でかつ1ヶ月前からの予約が必要。自治体によっては激戦でほとんど予約することができない。**また、預ける際に理由を聞かれるので、気分転換することが躊躇われる。	女性	30代	3人
子供を預けて働く親はベビーシッターを信用して預けると思うのですが、**ベビーシッター業界全体に対する不信が拭えていません。法整備をして欲しいです。**少子化、働き方改革にも繋がる事だと思います。	女性	30代	2人
性犯罪者のニュースが目立ち、大変不安で10年間悩みつつ一度も使えずに来ました。シッターの適正は勿論ですが、性犯罪者が二度と関わらないような仕組みを早急にお願いしたいです。	女性	40代	3人
キッズラインの事件により、ベビーシッターの普及が後退したように感じます。**保育に対して様々な預け方ができるといいと思いますし、安全安心に預けられるよう行政とのガイドラインが必要なのではと感じます。**	女性	30代	1人
ベビーシッターは高額だが、**高所得者ではない共働きで近隣に親類がいない場合は必要なことが多い**	女性	30代	2人
保育園の空きがなくてもベビーシッターの費用補助が出るなどすれば子育ての不安が軽減する	女性	30代	0人
現在2人目の子育て中で、**上の子がまだ保育園に入学できない為、ストレスや不満を感じることが多いから利用したいと感じている。**また、今後仕事をしたいと考えた時に利用したいサービスだと思うから。	女性	30代	2人
有名なベビーシッター会社で事件が起きたため、一時保育や保育園が満員でベビーシッターが必要な場面でも頼む勇気がでませんでした。また、**役所で案内されたベビーシッターの情報も結局どこに連絡すればいいのかわかりにくかった**です。	女性	30代	1人

主な意見抜粋【家事代行】

意見	性別	年代	子ども
産後ケアにも当てはまるが、産前産後の母親支援のために、家事代行サービスを受けられるようにすれば良いのではないか。**全額無料とまでいかないが、半額でも負担して貰えれば良いと思う。**	女性	40代	0人
まだまだ妻が母親が家事を担当することが多い世の中だと思います。女性も働いているかたが多いのに。**気軽に当たり前に家事代行を頼める雰囲気、世の中になると女性はとても過ごしやすくなると思います。**	女性	40代	3人
自分の子供を産みたくない理由の一つが産後の家事育児などが特に女性に負担がかかり苦しそうなイメージがあり、**もし政府で産後の家事育児などをサポートしてくれるのであれば産みたくなるかもしれない**	女性	20代	0人
共働き世帯が増えている現在、そういった世帯の負担を減らすことのできる家事代行などのサービスがより浸透していくべきだと思うため	男性	10代	0人
核家族化、共働き化も進み、**もはや家庭を父母のみで支えるのはほぼ不可能になりつつある**ように思います。	男性	20代	0人
過疎地における保育士不足により未満児の入所はとても難しいです。兼業家庭も多く、頼る人がいない親の負担を少しでも軽くする手立てとして**家事代行はとても助かり、需要もあり、力を入れて欲しいです。**	女性	30代	2人
養育者の心身の負担が減ると同時に、**家族が孤立しにくい（社会とのつながりが増える）、子どもと向き合う時間・余裕が生まれる。サービスはシンプルだが効果が大きく見込める。**	女性	40代	2人
専業主婦の場合24hフル活動のため家事代行システムが今より使いやすくなればいいなと思う。	女性	30代	1人
共働き、専業主ふ家庭、単身家庭、全ての家庭で家事の外注が当たり前になれば、**結婚に向けたゆとりや子育て、キャリアアップなどそれぞれの個人の目標に向けた時間を確保できると思う。**	女性	20代	1人
男性が育児休暇を取るのがまだまだ難しい今、家事代行サービスを行政が行うことで、比較的ゆとりができるし、**シッターではなく家事代行で子供とのコミュニケーションも取れるから。**	女性	20代	0人
登録や面談、調整など『大変だから頼みたい』のに、その前段階が大変で依頼できない。	女性	40代	1人
共働きの場合家事代行があるだけで**仕事に専念できる安心感**があるし、自分の時間や子供の時間をとりやすいと思ったからです。	男性	20代	0人
ベビーシッターも、そうですが片親だろうが両親がいようがパートナー一人に家事負担がのしかかればそれがストレスの原因になり子供やパートナーへの不満などになる為	回答しない	30代	0人
昔に比べて核家族化が進み地域のつながりも薄くなっている。子供を産んでもそれを育てていく環境が整っていないため、家事代行などのサービスを充実させるべき。**田舎も人が少なくなり産後の弱ったからだには買い物も不便。**	女性	30代	0人

主な意見抜粋【妊娠時に関する分類以外のこと】

意見	性別	年代	子ども
妻は太れない体質で、**二人の子を出産する際に、切迫早産の診断があって長期の入院と、手術を行いました。**しかし、「妊娠は病気ではないから」という理由で**保険の対象ではありません。**少子化対策を国が掲げるなら、**経済的にも安心して産める環境を作ってください。**	男性	40代	1人
切迫早産などで緊急入院した時等の上の子の預かり先や、入院費用をもう少し手厚くして欲しい。	女性	30代	2人
妊娠期における、**マタハラ、モラハラで切迫流産をした。母子健康管理カードが診断書と同じとなかなか認知されてない。**切迫流産で休んでいる間は傷病手当で守られるが、やむなく退職した際の金銭対策がない。	女性	30代	1人
つわりの時期が最も辛く、休みたかったが表面的にわかる体調不良ではないため休みづらく感じた。**つわり期に無理をすることは切迫流産等のリスクが高まることがもっと周知されればもう少し安心できると思う。**	女性	20代	1人
妊娠出産してみて、少子化になる理由がわかった気がする。**妊娠しても出産しても、会社には「お休みを頂いて申し訳ございません」「ご迷惑をおかけして申し訳ございません。」ばかり。**妊娠出産は思い通りにならないことも多く、以前と同じように働けないことも多いが、そんなに申し訳ないことなのか？女性の社会進出をうたいながら、ライフステージの変化で皺寄せをくっているのは女性ばかり。とても働きにくい。	女性	30代	1人
無痛分娩を普及させてほしい。出産が痛すぎてトラウマになる。**無痛分娩ができる産科が少ないし、費用も10～15万円と高い。**産科医、産科麻酔医不足が原因だと医師が言っていた、医師の育成や待遇改善を行っていただきたい。	女性	30代	2人
妊婦健診の助成券が14回分ありますが、それを使っても、自己負担が1万2千円を超えることもあり、高額すぎます。	女性	30代	1人
妊娠・出産に費用が掛かりすぎです。40歳正社員女性でも手取り20万円もありません。これでは子どもを持ちたくても経済的理由で不可能です。不妊治療も含めて妊娠に関する全てに健康保険の適用を望みます。	女性	40代	0人
妊娠検査薬を使用して妊娠が分かっていても**産婦人科の一回目の診察は保険適用外で1万ほどかかる。**さらに、心音が確認できなければ母子手帳を貰えないのに来週きてねと言われ、次週も同額を自己負担。**妊娠は病気じゃないから保険適用外というのはもう聞き飽きた。**母子手帳をもらうまでの時期が一番心配なのにお金の心配もしなきゃなのはおかしい。せめて3割り負担にしてほしい。また逆に、**妊娠に気づくのが遅れたり、予約が取れなくて初診が遅れた場合本来妊婦検診の補助券を使って受けれる検査も初診ですることになって3万ほど自己負担になる。あとで申請したら返ってくるような制度がほしい。**	女性	20代	2人
医療職で立ち仕事だが、産休は事務職などと変わらず6週前から。辛過ぎて働きながらの妊娠はもう無理だと感じた。同職種の切迫流産や流産率も高く制度の見直しが必要。	女性	30代	1人
多胎児家庭に対しての支援が足りていないと感じています。私には1歳7ヶ月の双子の娘がいます。私の家系も旦那の家系も、双子は1人もいません。妊娠期には、どんな暮らしに変わっていくのか不安しかなく、**色々情報を集めましたが公式のものは無く、どなたかの日記しかありませんでした。産まれたらどの様な暮らしに変わるのか。又、どのように育児をしていったら良いのか、不安しかありませんでした。**	女性	30代	1人

主な意見抜粋【妊娠前に関する分類以外のこと】

意見	性別	年代	子ども
若年女性の**子宮頸がんワクチンの整備**が、絶対に必要です。子育て世代の女性を冒す子宮頸がんの蔓延は、日本社会全体の大きな問題になります。	男性	40代	2人
自営業女性に対する妊娠支援制度が何もありません。妊娠出産時にもテナント料など経費は掛かりますし、その間のお金は貯金を崩すか、店を閉じるしか選択肢がありません。	女性	30代	1人
子供を作るのを躊躇してしまうほど所得が低い	男性	30代	0人
産休、育休の制度がある会社であっても取得しづらい環境のため、そのまま退職、**社会への復帰も難しいという状況の人が自分の周りにたくさんいます。**そのような状況をたくさん見てきて、**子どもを産みたいと思えなくなりました。**子を産み育てることに対して協力的な社会になってほしいです。	女性	20代	0人
女性が妊娠してから出産するまでの**体の変化について無知な人がとても多く、大切にされるべき妊婦が無碍に扱われたりするケースが散見される**ので、そういった教育が教育機関で行われると良いと思う。	男性	30代	1人
妊娠初期が一番流産の危険性があり、安静が必要なのに有給を消化しなければ休めない制度なのが気がかりです。妊娠初期休暇が取得できるようになればいいのにと思いました。	女性	20代	1人
子供の性教育。避妊の必要性、子宮頸がんワクチン、もし望まぬ子供ができてしまったら。アフターピルはどこでもらえるか。本当は家庭でできればいいのですが、得てして一番そういう情報が必要な家庭には、そういう情報は届きません（ネグレクトや虐待など）。なので、公教育で扱ってほしい。みんな知っててほしい。教師が難しいなら、性教育担当の講師などがエリアを持ち回りで教えに行くなどはできないでしょうか？ 被害者は情報を得られない女の子だし、その子は生まれた赤ちゃんを殺すことでしか解決できない。私は被害者である子が、さらに心に傷を負うことが耐えられません。	女性	30代	2人
人生についての授業がふんわりすぎる。今の授業内容は違うのかもしれないけれどこれだけ一人の人間の人生がわかるようになってきたのだからそれに**子供にかかる費用、自分に今までかかった費用とこれからかかる費用はざっくりとしすぎて商業系学科がある学校でなければしっかりわからないのは如何なものか**	女性	30代	0 人
近々結婚する予定の女性です。パートナーの仕事の都合で別居婚になるため、**もし子供を授かった場合ほぼ1人で育児**をすることになります。1人目はなんとかなるかもしれないが、第2子以降を生むのは無理なのではないか？と入籍する前から悩んでいます。 大人1人で乳幼児2人以上の世話をするのは、監視が行き届かず子供を危険にさらしてしまうかもしれません。もしくは親自身が無理を重ねて体を壊してしまったり、虐待につながってしまうのではないかもとも思います。 双方の実家は近隣ですが、自分の両親は働いており頼りにくいです。相手の両親も年配で負担は掛けられません。 現在は正社員として働いており、出産後も仕事を続ける予定です。保育園に入ることができたら園にいる間はプロが保育してくれるため安心ですが、**家庭には育児未経験の大人が1人しかいないため安全面や健康面が非常に心配です。家庭保育に関し、手頃な価格で安心して頼れる仕組みをもっと充実させていただけるとありがたいです。** ◎最後に Twitterでこのアンケートを知りました。広く意見を聞こうとしてくださる姿勢がとても嬉しいです。ありがとうございます。	女性	30代	0人

主な意見抜粋【乳児期/幼児期に関する分類以外のこと】

意見	性別	年代	子ども
男性の育休について。**育休制度としては整っていますが、とれる環境、雰囲気のない企業がほとんど**だと思います。育休が取れない上に勤務時間も長く、帰宅時間が18時以降になるサラリーマンが一般的な世の中では、母親はワンオペで育児をせざるをえません。産後の不安で寝不足な1年間、時間に余裕があって交代してくれる人がいるかどうかは母親にとって大きな問題です。男性の育休が当然の世の中になったり、帰宅時間や在宅ワークの融通が効く世の中になれば、二人目を産むことも躊躇しないのに…と思います。折角ある育休制度、活用必ずするべくもっと企業に訴えてください。	女性	20代	1人
12年前、未熟児（早産・低出生体重児）を出産後、当時は医療的な問題が無くNICUを退院したが、県や市町村の**保健師に母親の悩みや成長の相談に理解が無く苦しんだ**。	女性	40代	2人
周りに育児を手伝ってくれる人間がおらず、**現在進行形で孤独感や社会からの疎外感を感じながら育児をしています**。出産直後は行政からのサポートもありましたが産後数ヶ月経った今、**育児の疑問や悩みを気軽に相談できる仕組みがあれば**と思います。	女性	20代	1人
父親の教育が完全に不足している。	男性	30代	1人
あまりにも**支援が少なすぎる**から。支援の要望について、 具体的な案→最優先は給付。24時間コールセンターのような**「相談相手」の施設があるとありがたいです**。(ママさんは、大人との会話に飢えています。特に夜中は不安です。会話に飢える＝社会から断絶され、孤独に陥り、密室育児につながるため。人間は社会的な生き物です。)	女性	40代	2人
多胎児、特に乳児期の支援についてです。**今年度双子を妊娠、出産しました**。来年度に中核市に移行する市に住んでいますが、**他の地域に比べて多胎児への理解、支援がない**と感じております。**保健センターの産前産後の訪問も「産後ケアは(特に多胎児)は人手がなく期待できない、誰か助けてもらえる人を増やして」等の対応**です。幸い今年、身近に多胎児を出産した人が多く、その辺りで情報共有していますが、NICUのある公立病院に双子受け入れを断られる、産後ケアを受けたいが市の施設に研修を受けに来てと言われるなど困難な状況があります。中には、他の地域の保健センターが多胎児に手厚く、そちらに通うママさんたちもいます。何より、そのような事態を伝える**市の意見箱も、多胎児で目まぐるしくそれを伝える時間も気力もない**のが現状です。それなのに、「子育てに手厚い町」として広報にアピールしていたり、先日はテレビに市役所ぐるみで子育てについて出ておりました。また、自分は自然妊娠でしたが、不妊治療をしている人は思った以上に多く、金額や年齢の関係から体外受精による双子の可能性が高まっているように感じています。今後、不妊治療の発展を政府が支援する意向ならば、多胎児が増える状況も考えられると思います。すぐには難しいことは承知の上ですし、何でも支援してほしいわけではなく、今後新たに多胎児を出産した方々が少しでも晴れやかな気持ちで育児をしてほしいと思い、意見させていただきました。**多胎児乳児期の支援について、市レベルだけではなく考えていただきたい**です。声をあげる場所がなく、こちらに投稿させていただきました。長文乱文大変恐れ入りますが、よろしくお願い申し上げます。	女性	30代	3人

主な意見抜粋【DBSに関すること】

意見	性別	年代	子ども
娘に変な触り方をする職員がおり、安心して預ける事ができず困っているため。密室や車内等で、児童が男性職員と2人きりになる事を禁止にするなどして、性犯罪の初犯も防いでほしいです。	女性	30代	1人
性犯罪の再犯率の高さを考慮すると、必要だと思います。犯罪者の性犯罪は依存症に似ているので、きっかけとなる子どもとの接触をさせないことは、**加害を繰り返させないため**にも重要です。	女性	30代	1人
現場で働く人も子どもを預ける親も安心できる環境作りにつながると思うため。**どれほど気を付けていても、本人が名前を変えていたら調べようがないと思う**ので、証明書のような形のものが必要だと思います。	回答しない	20代	0人
今まで無くて子供達に申し訳ない気持ちでいっぱいです。子供を加害した大人の**職業選択の自由よりも子供たちの安全を優先するべき。**子供を守らない日本であって欲しくない。	回答しない	30代	2人
最低限必要なこと。性犯罪に対する処分が自治体等によりまちまち過ぎるのを踏まえると導入以前の問題もあるとは思うが、ないよりはマシ。	女性	20代	0人
性犯罪者の再犯率は13.9%と言われています。昨年も保育士の性犯罪がニュースになりましたが、被害をこれ以上増やさないために最低限すべきことなのではないでしょうか。	女性	20代	0人
子供に対する**性犯罪は子供のその後の人生に甚大な悪影響**を及ぼす上、再犯率が非常に高いため、DBSの導入で子供を守ることができるならば早急に導入すべき。	女性	20代	0人
教育保育に携わる人の児童への性犯罪が多すぎると感じます。多くの加害者は初犯ではなく過去に似たような犯罪を繰り返しています。更生も大事ですが、それよりも優先的に保護されるべきは児童です。	女性	40代	1人
子どもを持つ親として、子供たちが安心して暮らせる社会になるために少しでも取り組みを前に進めていくべき。義務教育でも教えず、大人たちの間でもこんなにも子供の人権が軽んじられている（一応は）先進国があるだろうか。子どもを守るのは全ての大人の義務であり、それがない社会に未来はない。特に母親は自身の幼少期を振り返り、こういった話題に非常に敏感である。**このまま子供たちが守られない社会では安心して子どもを産み育てられない。**少子化にも繋がってくる話である。	女性	30代	1人
性犯罪やDVをした人のGPS管理。**まともな更生プログラムが日本にない**から、元夫のように複数の女性を被害に合わせている人もいるはずなので	女性	30代	1人
ベビーシッターや教師など、子供と密接に関わることのある人は、過去に犯罪歴がある人はなって欲しくない。安心して子供を預けたい。	女性	20代	1人
教員に限らず、**保育士やシッター等にも取り入れて欲しい**です。自分の子どもが何かしらの犯罪に巻き込まれる可能性を少しでも0にしたいです。	女性	20代	3人
必要である。**自動車免許は失効があるのになぜ子供に関わる資格は犯罪をおかしても2、3年すればまた資格が取れるのかが不思議。**その資格があって狙って犯罪をおかした者もいるであろう現実と資格への対応が時代遅れに感じる。	女性	20代	1人

呼びかけ人一覧

“Children First ”の子ども行政のあり方勉強会呼びかけ人

＜衆議院議員＞

うえの賢一郎、木原誠二、橋本岳、牧原秀樹、小倉將信、小林鷹之、小林史明、佐々木紀、田畑裕明、津島淳、福田達夫、牧島かれん、務台俊介、村井英樹、山下貴司、鈴木貴子、加藤鮎子、木村弥生、鈴木隼人、古川康、宮路拓馬、国光あやの、繁本護

＜参議院議員＞

古賀友一郎、山下雄平、吉川ゆうみ、和田政宗、佐藤啓、自見はなこ、山田太郎

（順不同・敬称略）